

データヘルス計画（第2期）

年次報告書

[令和元年度]

最終更新日：令和2年07月27日

横浜港運健康保険組合

STEP 1-1 基本情報

組合コード	45772
組合名称	横浜港運健康保険組合
形態	総合
業種	運輸業

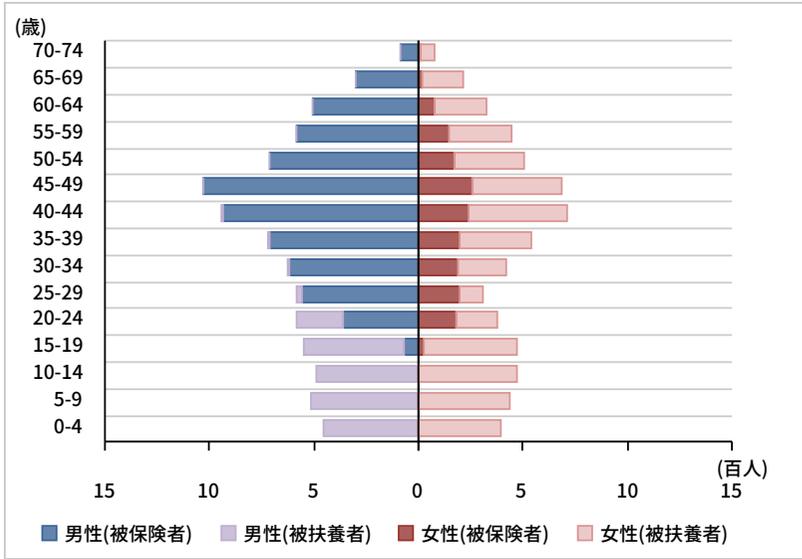
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保険者を除く	8,180名 男性80% (平均年齢44.68歳) * 女性20% (平均年齢40.17歳) *	8,240名 男性79% (平均年齢44.45歳) * 女性21% (平均年齢40.56歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険者数	0名	0名	-名
加入者数	15,323名	15,231名	-名
適用事業所数	112カ所	109カ所	-カ所
対象となる拠点数	229カ所	229カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	99.26‰	99.27‰	-‰

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	3	0	3	-	-
	保健師等	5	0	5	0	-	-
事業主	産業医	0	0	0	0	-	-
	保健師等	0	0	0	0	-	-

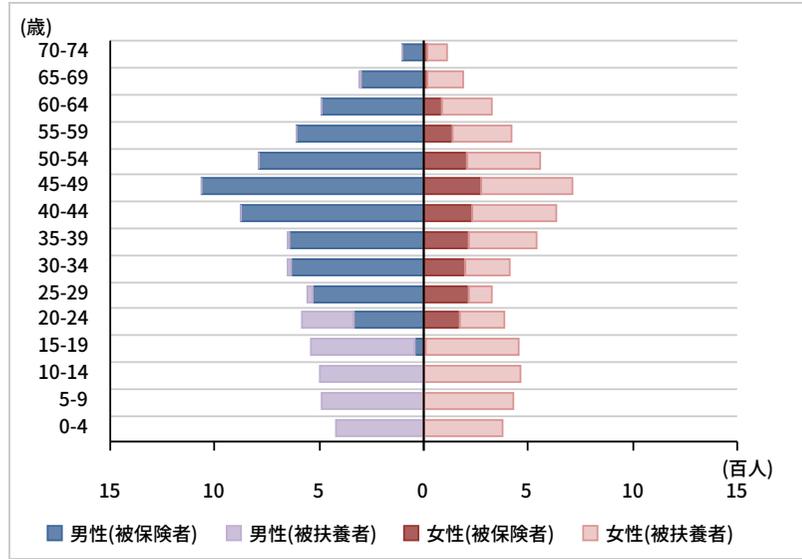
		第2期における基礎数値	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数： 特定健康診査対象者数)	全体	5,264 / 7,126 = 73.9 %	
	被保険者	4,475 / 5,053 = 88.6 %	
	被扶養者	789 / 2,073 = 38.1 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数： 特定保健指導対象者数)	全体	151 / 1,211 = 12.5 %	
	被保険者	151 / 1,144 = 13.2 %	
	被扶養者	0 / 67 = 0.0 %	

		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	15,335	1,875	14,815	1,798	-	-
	特定保健指導事業費	300	37	300	36	-	-
	保健指導宣伝費	34,791	4,253	24,982	3,032	-	-
	疾病予防費	165,046	20,177	170,383	20,678	-	-
	体育奨励費	4,225	517	6,225	755	-	-
	直営保養所費	0	0	0	0	-	-
	その他	904	111	879	107	-	-
	小計 …a	220,601	26,968	217,584	26,406	0	-
	経常支出合計 …b	4,413,777	539,582	4,604,250	558,768	-	-
	a/b×100 (%)	5.00		4.73		-	

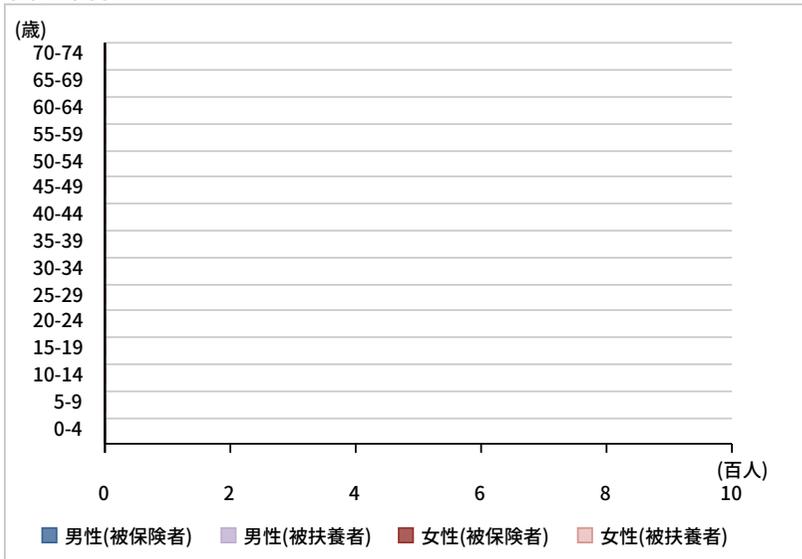
平成30年度



令和元年度



令和2年度



男性（被保険者）

平成30年度				令和元年度				令和2年度			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	66人	10～14	0人	15～19	41人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	359人	25～29	555人	20～24	335人	25～29	533人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	621人	35～39	708人	30～34	632人	35～39	647人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	931人	45～49	1,031人	40～44	878人	45～49	1,067人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	713人	55～59	581人	50～54	791人	55～59	612人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	507人	65～69	301人	60～64	485人	65～69	297人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	83人			70～74	100人			70～74	-人		

女性（被保険者）

平成30年度				令和元年度				令和2年度			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	24人	10～14	0人	15～19	9人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	183人	25～29	197人	20～24	168人	25～29	218人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	185人	35～39	200人	30～34	194人	35～39	216人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	238人	45～49	254人	40～44	235人	45～49	278人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	175人	55～59	142人	50～54	204人	55～59	138人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	78人	65～69	20人	60～64	86人	65～69	19人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	6人			70～74	13人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

平成30年度				令和元年度				令和2年度			
0～4	452人	5～9	512人	0～4	424人	5～9	487人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	491人	15～19	483人	10～14	498人	15～19	495人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	222人	25～29	30人	20～24	247人	25～29	29人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	11人	35～39	5人	30～34	15人	35～39	5人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	5人	45～49	3人	40～44	4人	45～49	2人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	3人	55～59	2人	50～54	4人	55～59	2人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	3人	65～69	4人	60～64	2人	65～69	6人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	4人			70～74	3人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

平成30年度				令和元年度				令和2年度			
0～4	394人	5～9	434人	0～4	374人	5～9	428人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	468人	15～19	442人	10～14	463人	15～19	448人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	201人	25～29	109人	20～24	217人	25～29	112人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	232人	35～39	346人	30～34	216人	35～39	327人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	469人	45～49	427人	40～44	403人	45～49	435人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	332人	55～59	303人	50～54	353人	55～59	287人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	248人	65～69	199人	60～64	242人	65～69	173人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	72人			70～74	90人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

男女ともに平均年齢が高い。
男女比の比率は、男性が高い。
常勤の保健師等がいる。

STEP 1-2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴

生活習慣病対策としての保健事業をおこなっている。
健康管理委員を対象に年一回、講習会を開催し、保険制度、疾病予防等の健康管理指導を行っている。

事業の一覧

職場環境の整備	
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	機関誌の発行
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健康診査
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	事務説明会及び講習会
保健指導宣伝	健康管理事業推進委員会
保健指導宣伝	育児誌の配布
保健指導宣伝	健康者表彰
保健指導宣伝	ヘルスブック
保健指導宣伝	レセプト点検及び疾病分析管理
保健指導宣伝	ホームページ
疾病予防	健康管理室（健康診断・生活習慣病健診・精密検査・健康相談・健康教室）
疾病予防	健康診査の補助（生活習慣病・人間ドック・精密検査）
疾病予防	家庭常備薬品の配布
疾病予防	冬季疾病予防対策（インフルエンザ予防接種）
疾病予防	健康管理室システム管理
疾病予防	健診機器のリース
体育奨励	家族連れバスハイキング
体育奨励	健康づくりの奨励
体育奨励	健康ウォーキング大会
体育奨励	ウォーキング支援
その他	契約保養所
その他	事業所へ健康相談・保健指導巡回
事業主の取組	
1	定期健康診断
2	健康管理事業推進委員会
3	健康管理委員会

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備													
加入者への意識づけ													
保健指導宣伝	-	機関誌の発行	【目的】 ・保健事業等に関する広報、啓発 【概要】 「港運健保だより」を年4回事業所経由で全被保険者に配布	被保険者	全て	男女	18 ～ 74	全員	5,913	年4回（春・夏・秋・冬号） 全被保険者へ配布	健康保険法の改正及び保健事業の実施報告等の広報により被保険者へ周知できる	-	5
個別の事業													
特定健康診査事業	-	特定健康診査	【目的】 ・特定健診受診による健康状態の把握 ・特定健診の受診率を上げる ・生活習慣病の有病者・予備軍の把握 【概要】 ・健康管理室では特定健診を実施 ・健康管理室以外の健診機関の実施 ・特定健診受診の補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ～ 74	全員	15,906	通年 受診者数 1,798名	-	被扶養者の実施率向上	-
特定保健指導事業	-	特定保健指導	【目的】 ・特定保健指導の受診向上とメタボ該当者の減少を目指す 【概要】 ・特定健診の結果から保健指導の該当者の階層化を行い、メタボリックシンドローム該当者・予備軍への保健指導の実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	40 ～ 74	基準該当者	252	通年 階層化リーフレット配布 情報提供 1,441名 動機付け 433名 積極的 782名 動機付け支援 60名 積極的支援 108名	-	被扶養者の受診率向上	-
保健指導宣伝	-	事務説明会及び講習会	【目的】 ・事業所担当者へ保健事業等の説明 【概要】 ・事務説明会及び健康管理者講習会を開催	被保険者	全て	男女	18 ～ 74	全員	1,185	算定基礎届説明会 （6月 36社 37名） 健康管理者講習会 （9月 49社 88名） 事務説明会 （8月 79社 89名） （3月 59社 59名）	組合の事業運営及び保健事業内容を事業所担当者へ周知できる	-	-
	-	健康管理事業推進委員会	【目的】 ・保健事業等の実施計画案を検討 【概要】 ・年4回健康管理事業推進委員会を開催	被保険者	-	-	- ～ -	-	1,121	年4回 （6月 平成27年度決算案） （9月 健康管理者講習会同時開催） （12月 平成29年度保健事業案） （3月 保健事業実施内容）	-	-	-
	-	育児誌の配布	【目的】 ・出産後の育児の参考 【概要】 ・初産に対して1年間（毎月）育児誌を配布	被保険者 被扶養者	全て	男女	18 ～ 74	全員	253	配布該当者 75名	出産された方々から「参考になった」と申し出がある	-	5
	-	健康者表彰	【目的】 ・健康者へのインセンティブ 【概要】 ・1年間健康に過ごした方を表彰	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	2,498	被表彰者 622名	-	-	5
	-	ヘルスブック	【目的】 ・組合員への健康意識向上 【概要】 ・インターネットによる医療費通知及びジェネリック医薬品の推奨を発信	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	21,444	-	-	-	5
	-	レセプト点検及び疾病分析管理	【目的】 ・医療費に関する点検・統計・集計・把握 【概要】 ・レセプト点検及びコンピューターによる病類別・統計の処理	-	-	-	- ～ -	-	4,066	-	-	-	-

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	-	ホームページ	【目的】 ・組合の運営状況の公開 【概要】 ・インターネットでの発信	-	-	-	~	-	56	-	-	-	-
疾病予防	-	健康管理室（健康診断・生活習慣病健診・精密検査・健康相談・健康教室）	【目的】 ・受診率向上、重症化予防のための早期発見等 【概要】 ・健康管理室において、各種健康診査及び健康相談並びに健康教室を実施	被保険者被扶養者	全て	男女	18~74	全員	105,660	通年 健康診断 2,264名 生活習慣病健診 2,713名 各種検査 3,309名 健康相談等 641名	一定の受診率向上	-	-
	-	健康診査の補助（生活習慣病・人間ドック・精密検査）	【目的】 ・健康管理室を利用できない方への健診補助 【概要】 ・各種健診に対する補助	被保険者被扶養者	全て	男女	18~74	全員	21,766	随時 健診補助 ・健康診断 901名 ・生活習慣病 624名 ・人間ドック 400名 ・脳ドック 73名 ・肺ドック 44名 ・精密検査 450名	健康チェック思考が向上し健診人数が増えている。	-	-
	-	家庭常備薬品の配布	【目的】 ・家庭常備薬の充実による疾病の自己管理の向上 【概要】 ・感冒薬・胃腸薬・外傷薬等の薬品配布	被保険者	全て	男女	18~74	全員	8,247	被保険者すべてに配布	軽度の疾患に対処することができる。	-	5
	-	冬季疾病予防対策（インフルエンザ予防接種）	【目的】 ・インフルエンザの重症化予防 【概要】 ・健康管理室においてインフルエンザ予防接種及び補助を実施	被保険者被扶養者	全て	男女	0~74	全員	8,454	10月~12月 健康管理室接種 939名 接種補助 3,574名	毎年、予防接種を受ける人数が増えている。	-	-
	-	健康管理室システム管理	【目的】 ・健康管理室の利用者及び各種補助の集計・管理 【概要】 ・コンピューター処理	-	-	-	~	-	19,673	-	-	-	-
	-	健診機器のリース	【目的】 【概要】	-	-	-	~	-	594	リース及び保守	-	-	-
	体育奨励	-	家族連れバスハイキング	【目的】 ・健康づくり習慣の促進 【概要】 ・季節に応じた味覚狩りとウォーキングをまじえて実施	被保険者被扶養者	全て	男女	0~74	全員	3,991	春季：4月23日 295名 「栃木県・あしかがフラワーパークといちご狩り」 秋季：9月17日 204名 「山梨県・昇仙峡とぶどう狩り」	健康づくり効果がある	参加者が限られる
-		健康づくりの奨励	【目的】 ・組合員の健康づくり習慣の促進 【概要】 ・組合が契約しているスポーツ施設（プール・スケート場）の利用補助	被保険者被扶養者	全て	男女	0~74	全員	478	7月~8月 プール（3施設） 1,760名 12月~3月 スケート（3施設） 135名	健康づくり効果がある	利用者が限られる	-
4		健康ウォーキング大会	【目的】 ・健康づくり慣習の促進 【概要】 ・現地集合、現地解散でウォーキング大会を実施	被保険者被扶養者	全て	男女	0~74	全員	482	秋：11月5日 165名 「藤沢市・新江の島水族館及び江の島近郊を散策」	健康づくり効果がある	参加者が限られる	-
-		ウォーキング支援	【目的】 ・コミュニケーションの向上と運動習慣を高める 【概要】 ・健保連・神奈川歩け歩け協会等が主催する企画イベントに参加費の補助	被保険者被扶養者	全て	男女	0~74	全員	20	75 通年（毎月1回ウォーキング開催） 75名	健康づくり効果がある	開催場所が限定されているので参加者が限られる	-
その他	-	契約保養所	【目的】 ・温泉利用等による健康増進 【概要】 ・各保養施設と契約し利用補助	被保険者被扶養者	全て	男女	0~74	全員	226	通年 利用者数 97名	組合員のリフレッシュ及び健康増進の効果がある	契約先が限られている	-

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
-	-	事業所へ健康相談・保健指導巡回	【目的】 ・各事業所へ保健指導を行う 【概要】 ・各事業所へ保健指導対象者に対する巡回指導	-	-	-	-	-	162	-	-	-	-

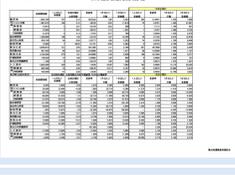
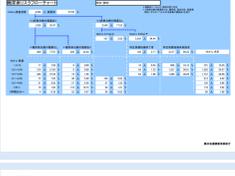
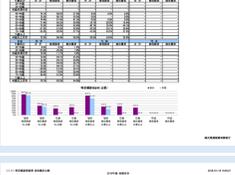
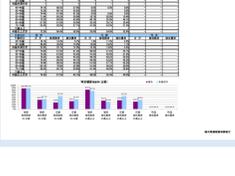
注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 訪問指導 8. その他

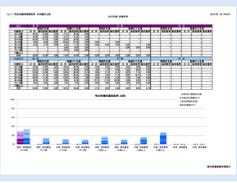
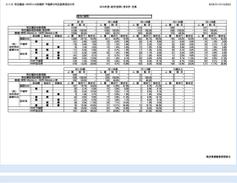
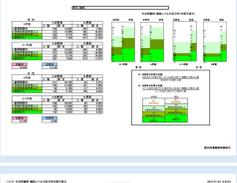
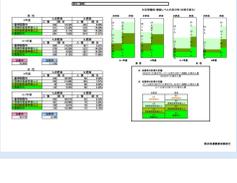
注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
定期健康診断	<p>【目的】 検診結果に基づいて生活習慣の見直し、病気の発症を未然に防ぐ。</p> <p>【概要】 安衛法に基づき実施</p>	被保険者	男女	18 ～ (上限なし)	各事業主において実施している取り組み及び組織体制を詳細・正確に把握していない。検診受診率100%を目指している。	-	-	無
健康管理事業推進委員会	<p>【目的】 健康管理事業の推進 各事業主・健康管理委員からの意見徴収、健保組合からの情報提供など、交流の場</p> <p>【概要】 理事、健康管理委員、医療スタッフ、事務局の10名が参加 各事業所の健康管理委員への情報提供</p>	-	-	- ～ - 年4回の開催を実施	-	-	-	有
健康管理委員会	<p>【目的】 各事業所から加入者への情報提供などの機能を果たす</p> <p>【概要】 各事業所より代表1名 保健制度・疾病予防などの健康管理について研修を行う</p>	-	-	- ～ - 各事業所より、各事業主の推薦により1名を選出 年1回、健康管理者講習会を実施	講習会は、各事業所の委員の交流を深められる。	今後も継続	有	

STEP 1-3 基本分析

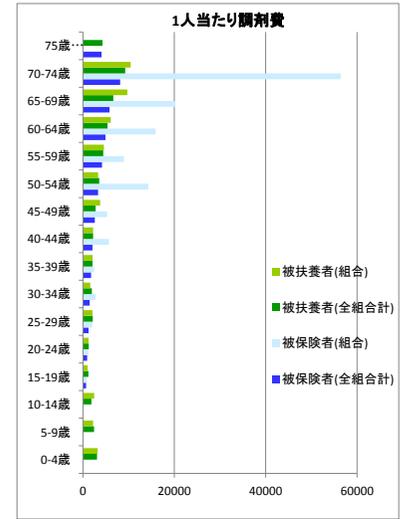
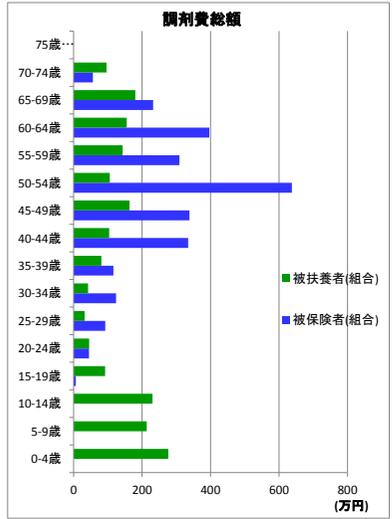
登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		後発医薬品使用率（組合全体比較）	後発医薬品分析	-
イ		後発医薬品使用率（形態比較）	後発医薬品分析	-
ウ		生活習慣病医療費比較	医療費・患者数分析	-
エ		糖尿病リスクフローチャート	健康リスク分析	-
オ		特定健診受診率（形態比較）	特定健診分析	-
カ		特定健診受診率（組合全体比較）	特定健診分析	-

キ		特定保健指導実施率（組合全体比較）	特定保健指導分析	-
ク		生活習慣病医療費の経年変化	医療費・患者数分析	-
ケ		特定健診・メタボリック症候群・予備軍の判定基準項目分布	特定健診分析	-
コ		生活習慣病・健診レベル判定分布の経年変化（2016）	特定健診分析	-
サ		生活習慣病・健診レベル判定分布の経年変化（2015）	特定健診分析	-
シ		生活習慣病・健診レベル判定分布の経年変化（2014）	特定健診分析	-

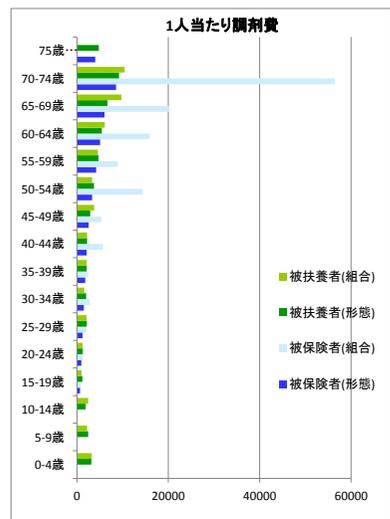
調剤費	全 組 合 計								
	合計			被保険者			被扶養者		
	件数	調剤費 総額	1人当たり 調剤費	件数	調剤費 総額	1人当たり 調剤費	件数	調剤費 総額	1人当たり 調剤費
0-4歳	602	2,764,590	3,196	-	-	-	602	2,764,590	3,196
5-9歳	422	2,134,190	2,205	-	-	-	422	2,134,190	2,205
10-14歳	270	2,302,980	2,447	-	-	-	270	2,302,980	2,447
15-19歳	183	985,400	992	10	64,610	818	173	920,790	1,007
20-24歳	163	905,170	1,213	93	449,430	1,218	70	455,740	1,209
25-29歳	191	1,248,130	2,056	156	926,620	2,050	35	321,510	2,074
30-34歳	273	1,662,460	2,328	198	1,240,710	2,769	75	421,750	1,586
35-39歳	290	1,971,820	2,280	169	1,162,490	2,412	121	809,330	2,113
40-44歳	447	4,388,210	4,132	306	3,347,580	5,664	141	1,040,630	2,209
45-49歳	484	5,014,530	4,673	333	3,380,640	5,307	151	1,633,890	3,747
50-54歳	425	7,433,820	9,717	303	6,375,140	14,294	122	1,058,680	3,319
55-59歳	477	4,519,030	6,868	309	3,088,460	8,952	168	1,430,570	4,571
60-64歳	497	5,512,670	10,938	366	3,963,140	15,916	131	1,549,730	6,077
65-69歳	341	4,121,390	13,738	218	2,320,760	20,181	123	1,800,630	9,733
70-74歳	135	1,525,850	14,959	56	564,280	56,428	79	961,570	10,452
75歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	5,200	46,490,440	4,164	2,517	26,883,860	6,366	2,683	19,606,580	2,825

後発医薬品の使用割合	全 組 合 計												
	合計				被保険者				被扶養者				
	件数	使用割合	薬剤費割合	件数	使用割合	薬剤費割合	件数	使用割合	薬剤費割合	使用割合	薬剤費割合	使用割合	薬剤費割合
0-4歳	380	61.57%	36.34%	-	0.00%	0.00%	380	61.57%	36.34%	64.74%	35.61%	64.74%	35.61%
5-9歳	251	56.55%	36.31%	-	0.00%	0.00%	251	56.55%	36.31%	59.84%	29.99%	59.84%	29.99%
10-14歳	155	61.45%	40.95%	-	0.00%	0.00%	155	61.45%	40.95%	62.93%	32.19%	62.93%	32.19%
15-19歳	117	72.84%	45.68%	8	74.30%	61.91%	109	72.77%	45.02%	68.50%	42.23%	73.15%	50.41%
20-24歳	104	61.48%	39.61%	59	74.47%	49.36%	45	51.56%	32.92%	70.95%	45.42%	74.08%	49.39%
25-29歳	128	75.35%	52.09%	106	76.50%	53.17%	22	68.88%	44.98%	73.01%	46.80%	74.30%	49.78%
30-34歳	184	67.40%	42.43%	139	67.89%	40.55%	45	65.62%	49.44%	72.99%	47.03%	73.29%	47.77%
35-39歳	189	73.75%	47.64%	110	72.02%	45.57%	79	75.99%	50.69%	72.01%	46.47%	71.81%	46.13%
40-44歳	288	71.30%	50.59%	202	69.29%	46.92%	86	78.08%	64.21%	71.30%	46.66%	71.40%	47.05%
45-49歳	307	72.59%	47.69%	204	73.38%	52.52%	103	71.33%	39.98%	71.05%	45.70%	71.52%	46.62%
50-54歳	272	80.21%	57.67%	193	82.55%	65.75%	79	75.21%	44.13%	71.69%	47.74%	72.39%	49.20%
55-59歳	292	71.49%	45.77%	198	75.00%	46.08%	94	64.53%	45.00%	72.23%	47.91%	73.22%	49.67%
60-64歳	329	68.20%	51.04%	249	68.66%	49.56%	80	66.44%	56.69%	73.09%	49.40%	74.35%	51.23%
65-69歳	210	69.10%	56.51%	136	68.90%	60.38%	74	69.44%	49.38%	71.47%	48.32%	72.57%	50.31%
70-74歳	89	71.30%	54.15%	38	66.89%	49.30%	51	73.70%	56.65%	68.44%	43.82%	65.94%	41.44%
75歳以上	-	0.00%	0.00%	-	0.00%	0.00%	-	0.00%	0.00%	68.19%	43.75%	66.29%	42.98%
合計	3,295	69.93%	48.36%	1,642	72.40%	51.02%	1,653	66.89%	44.84%	70.26%	44.63%	72.61%	48.50%



	調剤費									形態								
	合計			被保険者			被扶養者			合計			被保険者			被扶養者		
	件数	調剤費総額	1人当たり調剤費	件数	調剤費総額	1人当たり調剤費	件数	調剤費総額	1人当たり調剤費									
0-4歳	602	2,764,590	3,196	-	-	-	602	2,764,590	3,196	3,146	-	-	3,146	-	-	3,146		
5-9歳	422	2,134,190	2,205	-	-	-	422	2,134,190	2,205	2,449	-	-	2,449	-	-	2,449		
10-14歳	270	2,302,980	2,447	-	-	-	270	2,302,980	2,447	1,892	-	-	1,892	-	-	1,892		
15-19歳	183	985,400	992	10	64,610	818	173	920,790	1,007	1,150	684	1,195	1,150	684	1,195			
20-24歳	163	905,170	1,213	93	449,430	1,218	70	455,740	1,209	1,036	936	1,253	1,036	936	1,253			
25-29歳	191	1,248,130	2,056	156	926,620	2,050	35	321,510	2,074	1,334	1,236	2,135	1,334	1,236	2,135			
30-34歳	273	1,662,460	2,328	198	1,240,710	2,769	75	421,750	1,586	1,569	1,484	2,010	1,569	1,484	2,010			
35-39歳	290	1,971,820	2,280	169	1,162,490	2,412	121	809,330	2,113	1,864	1,797	2,127	1,864	1,797	2,127			
40-44歳	447	4,388,210	4,132	306	3,347,580	5,664	141	1,040,630	2,209	2,129	2,100	2,231	2,129	2,100	2,231			
45-49歳	484	5,014,530	4,673	333	3,380,640	5,307	151	1,633,890	3,747	2,646	2,571	2,914	2,646	2,571	2,914			
50-54歳	425	7,433,820	9,717	303	6,375,140	14,294	122	1,058,680	3,319	3,394	3,302	3,709	3,394	3,302	3,709			
55-59歳	477	4,519,030	6,868	309	3,088,460	8,952	168	1,430,570	4,571	4,314	4,192	4,702	4,314	4,192	4,702			
60-64歳	497	5,512,670	10,938	366	3,963,140	15,916	131	1,549,730	6,077	5,153	5,049	5,449	5,153	5,049	5,449			
65-69歳	341	4,121,390	13,738	218	2,320,760	20,181	123	1,800,630	9,733	6,268	6,029	6,676	6,268	6,029	6,676			
70-74歳	135	1,525,850	14,959	56	564,280	56,428	79	961,570	10,452	8,892	8,542	9,190	8,892	8,542	9,190			
75歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4,560	4,002	4,801	4,560	4,002	4,801			
合計	5,200	46,490,440	4,164	2,517	26,883,860	6,366	2,683	19,606,580	2,825	2,428	2,344	2,557	2,428	2,344	2,557			

	後発医薬品の使用割合															
	合計				被保険者				被扶養者				形態			
	件数	使用割合	薬剤費割合	件数	使用割合	薬剤費割合	件数	使用割合	薬剤費割合	使用割合	薬剤費割合	使用割合	薬剤費割合	使用割合	薬剤費割合	
0-4歳	380	61.57%	36.34%	-	0.00%	0.00%	380	61.57%	36.34%	64.26%	35.39%	0.00%	0.00%	64.26%	35.39%	
5-9歳	251	56.55%	36.31%	-	0.00%	0.00%	251	56.55%	36.31%	59.45%	29.59%	0.00%	0.00%	59.45%	29.59%	
10-14歳	155	61.45%	40.95%	-	0.00%	0.00%	155	61.45%	40.95%	62.44%	32.01%	0.00%	0.00%	62.44%	32.01%	
15-19歳	117	72.84%	45.68%	8	74.30%	61.91%	109	72.77%	45.02%	68.07%	43.58%	73.18%	53.58%	67.73%	43.09%	
20-24歳	104	61.48%	39.61%	59	74.47%	49.36%	45	51.56%	32.92%	71.67%	45.67%	74.25%	49.20%	67.29%	40.42%	
25-29歳	128	75.35%	52.09%	106	76.50%	53.17%	22	68.86%	44.98%	73.42%	47.43%	74.45%	49.33%	68.50%	39.11%	
30-34歳	184	67.40%	42.43%	139	67.89%	40.55%	45	65.62%	49.44%	73.12%	47.01%	73.47%	48.55%	71.85%	42.00%	
35-39歳	189	73.75%	47.64%	110	72.02%	45.57%	79	75.99%	50.69%	71.92%	46.65%	71.86%	46.22%	72.11%	47.93%	
40-44歳	288	71.30%	50.59%	202	69.29%	46.92%	86	78.08%	64.21%	71.03%	46.40%	71.11%	46.69%	70.79%	45.52%	
45-49歳	307	72.59%	47.69%	204	73.38%	52.52%	103	71.33%	39.98%	70.92%	45.85%	71.31%	46.98%	69.69%	42.62%	
50-54歳	272	80.21%	57.67%	193	82.55%	65.75%	79	75.21%	44.13%	71.65%	47.94%	72.28%	48.97%	69.78%	45.04%	
55-59歳	292	71.49%	45.77%	198	75.00%	46.08%	94	64.53%	45.00%	71.81%	47.96%	72.60%	49.82%	69.51%	43.03%	
60-64歳	329	68.20%	51.04%	249	68.66%	49.56%	80	66.44%	56.69%	72.07%	48.54%	73.17%	50.19%	69.21%	44.44%	
65-69歳	210	69.10%	56.51%	136	68.90%	60.38%	74	69.44%	49.38%	70.69%	47.10%	71.49%	48.38%	69.49%	45.17%	
70-74歳	89	71.30%	54.15%	38	66.89%	49.30%	51	73.70%	56.65%	67.46%	42.52%	64.64%	39.87%	69.43%	44.58%	
75歳以上	-	0.00%	0.00%	-	0.00%	0.00%	-	0.00%	0.00%	67.46%	44.08%	68.07%	40.48%	67.20%	45.63%	
合計	3,295	69.99%	48.36%	1,642	72.40%	51.02%	1,653	66.89%	44.84%	70.04%	44.62%	72.22%	48.17%	66.82%	39.58%	



							全組合計				
	医療費総額	1人当たり 医療費	全組合計 比較指数	受診率	1件当たり 日数	1日当たり 医療費	1人当たり 医療費	受診率	1件当たり 日数	1日当たり 医療費	
糖尿病	7,895,760	707	2.12	66.5532	1.96	5,423	324	31.6461	1.45%	7,068	
再掲	インスリン治療	1,887,870	169	2.12	4.6578	2.04	79	2.0767	1.40%	27,087	
	腎障害	19,610	2	2.01	4.2100	2.02	1	1.7115	1.19%	497	
	網膜症	75,050	7	0.97	3.9412	1.14	7	1.3767	1.28%	3,745	
	神経障害	51,870	5	4.13	1.7019	3.47	1	0.2648	1.42%	2,878	
脳血管障害	1,209,090	108	1.33	5.3744	1.87	78	2.7162	2.27%	12,676		
虚血性心疾患	605,740	54	0.69	13.0777	1.86	74	6.5330	1.78%	6,406		
動脈閉塞	73,000	7	68.03	0.1791	8.00	0	0.0164	2.79%	2,094		
高血圧症	8,050,610	721	2.05	99.1580	1.41	5,164	337	46.7889	1.32%	5,450	
高尿酸血症	627,540	56	2.23	25.0806	1.42	1,577	26	10.2008	1.49%	1,727	
高脂血症	4,129,260	370	1.81	84.2888	1.49	2,939	198	43.1064	1.36%	3,377	
肝機能障害	109,550	10	1.60	12.9882	1.26	602	6	6.5866	1.32%	737	
高血圧性腎臓障害	1,180	0	0.49	0.4479	1.00	236	0	0.0973	1.37%	1,947	
人工透析	5,892,090	528	2.68	1.3436	55.60	7,065	193	0.4860	13.17%	30,205	
再掲	網膜症	822,460	74	4.39	0.6270	37.57	16	0.2072	12.96%	5,912	
	神経障害	459,560	41	2.30	1.3436	13.33	18	0.4649	12.76%	3,022	
伸び率(対前年同月) ※全組合計 比較指数は対前年増減差、その他は増減率							全組合計				
	医療費総額	1人当たり 医療費	全組合計 比較指数	受診率	1件当たり 日数	1日当たり 医療費	1人当たり 医療費	受診率	1件当たり 日数	1日当たり 医療費	
糖尿病	-6.35%	-4.85%	-0.24	4.27%	-4.39%	-4.36%	9.83%	5.93%	0.00%	3.64%	
再掲	インスリン治療	20.58%	22.46%	+0.28	7.82%	20.71%	-5.58%	11.27%	7.21%	-1.41%	4.24%
	腎障害	-20.74%	0.00%	-0.08	1.60%	0.00%	-20.77%	0.00%	5.21%	0.85%	-10.45%
	網膜症	-88.66%	-87.93%	-7.31	-26.71%	-17.99%	-80.73%	16.67%	3.93%	0.00%	-0.85%
	神経障害	-37.97%	-28.57%	-2.50	-22.78%	3.27%	-21.01%	0.00%	1.77%	0.00%	1.98%
脳血管障害	131.28%	134.78%	+0.76	-11.65%	3.31%	158.13%	5.41%	1.60%	0.00%	3.34%	
虚血性心疾患	-30.84%	-29.87%	-0.24	-14.25%	-20.17%	2.85%	-1.33%	0.72%	1.14%	-3.00%	
動脈閉塞	1.93%	16.67%	-1.23	-32.29%	-46.67%	186.62%	-	2.50%	-4.45%	-14.60%	
高血圧症	-5.49%	-3.99%	-0.11	3.47%	-6.00%	-0.94%	4.66%	5.04%	0.00%	-0.42%	
高尿酸血症	24.23%	24.44%	+0.18	10.70%	2.90%	10.51%	18.18%	8.82%	0.68%	8.48%	
高脂血症	10.98%	12.80%	+0.15	4.38%	-2.61%	10.45%	6.45%	4.96%	0.74%	1.02%	
肝機能障害	34.04%	42.86%	+0.37	16.92%	0.80%	16.44%	0.00%	7.78%	0.00%	-2.12%	
高血圧性腎臓障害	-	-	-	407.82%	0.00%	-	-	5.53%	2.24%	50.23%	
人工透析	-12.38%	-10.96%	-0.53	-10.35%	3.42%	-3.98%	9.66%	4.14%	5.44%	0.31%	
再掲	網膜症	1.02%	2.78%	+0.02	1.60%	-9.01%	11.00%	6.67%	5.93%	5.45%	-3.52%
	神経障害	-3.65%	-2.38%	-0.41	-4.75%	6.64%	-3.65%	20.00%	3.77%	5.19%	9.41%

糖尿病リスクフローチャート

組合(強制)

* 服薬あり/なしは、問診回答で判定
 * 3疾患治療の服薬ありは、糖尿病、高血圧症、脂質異常症いずれか1つ以上の治療薬の服薬ありを指す

HbA1c実施者数 4,566 人 実施率 87.62 %

* 3疾患治療の服薬あり

1,026 人 22.47 %

* 3疾患治療の服薬なし

3,540 人 77.53 %

HbA1c 6.1%以上

197 人 5.56 %

HbA1c 6.0%以下

3,343 人 94.44 %

* 糖尿病治療の服薬なし

800 人 77.97 %

* 糖尿病治療の服薬あり

226 人 22.03 %

特定保健指導終了者

126 人 3.77 %

特定保健指導未実施者

3,217 人 96.23 %

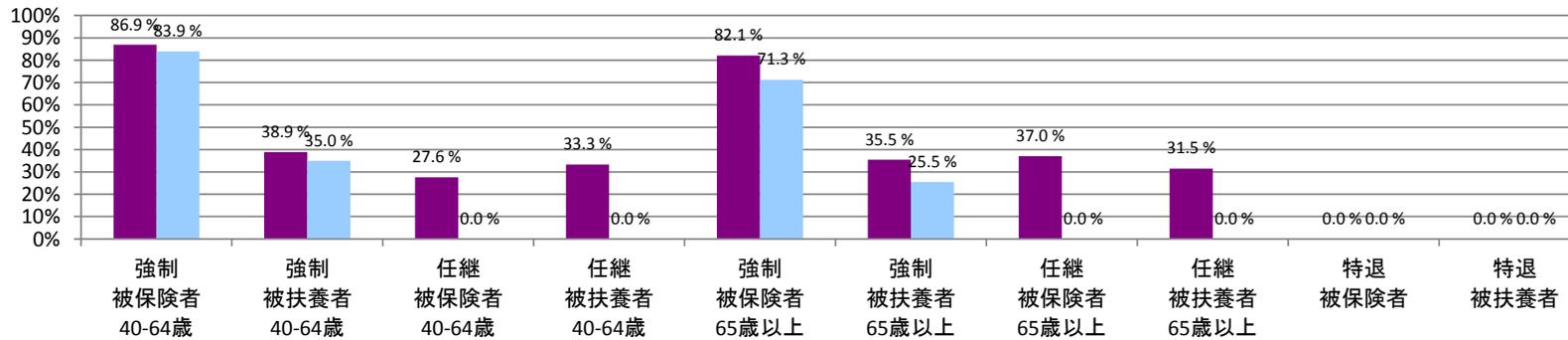
HbA1c 合計

HbA1c 数値

HbA1c 数値	* 3疾患治療の服薬あり (1,026人)		* 3疾患治療の服薬なし (3,540人)		HbA1c 6.1%以上 (197人)		HbA1c 6.0%以下 (3,343人)		HbA1c 合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
～5.1%	77	7.50%	0	0.00%	0	0.00%	18	0.54%	701	15.35%
5.2～5.4%	216	21.05%	0	0.00%	0	0.00%	45	1.35%	1,592	34.87%
5.5～6.0%	385	37.52%	19	1.85%	19	9.64%	63	1.88%	1,747	38.26%
6.1～6.4%	72	7.02%	40	3.90%	40	20.30%	100	2.82%	212	4.64%
6.5～6.9%	31	3.02%	57	5.56%	57	28.93%	47	1.33%	135	2.96%
7.0%～	19	1.85%	110	10.72%	110	55.84%	50	1.41%	179	3.92%
[再掲]8.0%～	4	0.39%	52	5.07%	52	26.39%	29	0.82%	85	1.86%

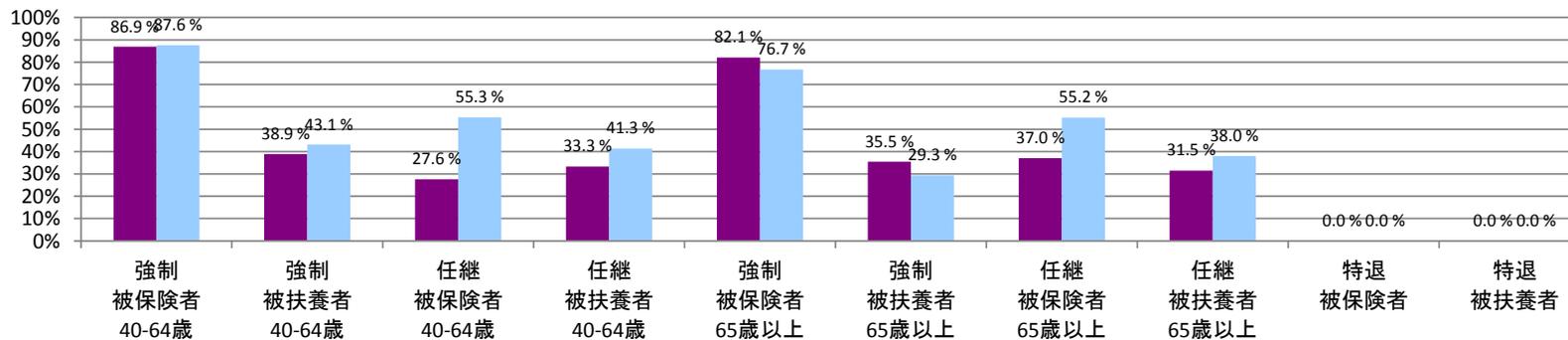
組合 年齢区分	強 制			任 継			特 退		
	合 計	被保険者	被扶養者	合 計	被保険者	被扶養者	合 計	被保険者	被扶養者
30-34歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
35-39歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40歳未満合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40-44歳	74.1%	88.5%	37.6%	0.0%	0.0%	0.0%	-	-	-
45-49歳	72.3%	86.1%	35.5%	0.0%	-	0.0%	-	-	-
50-54歳	74.4%	87.4%	41.3%	0.0%	0.0%	0.0%	-	-	-
55-59歳	71.4%	85.2%	39.0%	16.7%	20.0%	15.4%	-	-	-
60-64歳	73.2%	86.0%	43.6%	40.7%	35.0%	44.1%	-	-	-
65-69歳	67.3%	81.9%	39.8%	33.3%	35.1%	30.4%	-	-	-
70-74歳	53.3%	82.6%	27.1%	41.9%	43.5%	37.5%	-	-	-
75歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40歳以上合計	72.2%	86.4%	38.5%	33.8%	34.9%	32.4%	-	-	-
形態 年齢区分	強 制			任 継			特 退		
	合 計	被保険者	被扶養者	合 計	被保険者	被扶養者	合 計	被保険者	被扶養者
30-34歳	8.0%	9.4%	1.6%	-	-	-	-	-	-
35-39歳	21.0%	25.3%	7.0%	-	-	-	-	-	-
40歳未満合計	15.0%	17.7%	4.8%	-	-	-	-	-	-
40-44歳	72.0%	84.1%	33.5%	-	-	-	-	-	-
45-49歳	72.3%	84.1%	34.6%	-	-	-	-	-	-
50-54歳	72.8%	84.3%	36.7%	-	-	-	-	-	-
55-59歳	72.5%	84.1%	37.1%	-	-	-	-	-	-
60-64歳	69.0%	81.5%	34.1%	-	-	-	-	-	-
65-69歳	56.9%	73.9%	28.4%	-	-	-	-	-	-
70-74歳	38.4%	61.5%	20.6%	-	-	-	-	-	-
75歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40歳以上合計	70.7%	83.3%	34.0%	-	-	-	-	-	-

特定健診受診率(比較)



組合 年齢区分	強 制			任 継			特 退		
	合 計	被保険者	被扶養者	合 計	被保険者	被扶養者	合 計	被保険者	被扶養者
30-34歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
35-39歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40歳未満合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40-44歳	74.1%	88.5%	37.6%	0.0%	0.0%	0.0%	-	-	-
45-49歳	72.3%	86.1%	35.5%	0.0%	-	0.0%	-	-	-
50-54歳	74.4%	87.4%	41.3%	0.0%	0.0%	0.0%	-	-	-
55-59歳	71.4%	85.2%	39.0%	16.7%	20.0%	15.4%	-	-	-
60-64歳	73.2%	86.0%	43.6%	40.7%	35.0%	44.1%	-	-	-
65-69歳	67.3%	81.9%	39.8%	33.3%	35.1%	30.4%	-	-	-
70-74歳	53.3%	82.6%	27.1%	41.9%	43.5%	37.5%	-	-	-
75歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40歳以上合計	72.2%	86.4%	38.5%	33.8%	34.9%	32.4%	-	-	-
全組合計 年齢区分	強 制			任 継			特 退		
	合 計	被保険者	被扶養者	合 計	被保険者	被扶養者	合 計	被保険者	被扶養者
30-34歳	16.1%	18.3%	6.7%	7.4%	11.5%	2.4%	-	-	-
35-39歳	28.3%	32.6%	15.5%	13.8%	18.2%	7.1%	-	-	-
40歳未満合計	22.6%	25.7%	12.0%	10.4%	14.8%	4.4%	-	-	-
40-44歳	74.6%	87.2%	41.4%	40.6%	47.2%	24.7%	-	-	-
45-49歳	75.3%	87.8%	43.3%	41.0%	45.6%	31.5%	-	-	-
50-54歳	76.2%	88.2%	45.2%	44.2%	49.2%	39.3%	-	-	-
55-59歳	76.2%	88.0%	44.7%	45.9%	53.2%	42.5%	-	-	-
60-64歳	74.4%	86.5%	40.3%	51.6%	57.7%	42.3%	-	-	-
65-69歳	60.1%	78.9%	32.0%	51.8%	56.2%	39.0%	-	-	-
70-74歳	38.2%	65.7%	24.8%	41.4%	46.0%	29.9%	-	-	-
75歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40歳以上合計	74.5%	87.3%	42.1%	49.6%	55.3%	40.5%	-	-	-

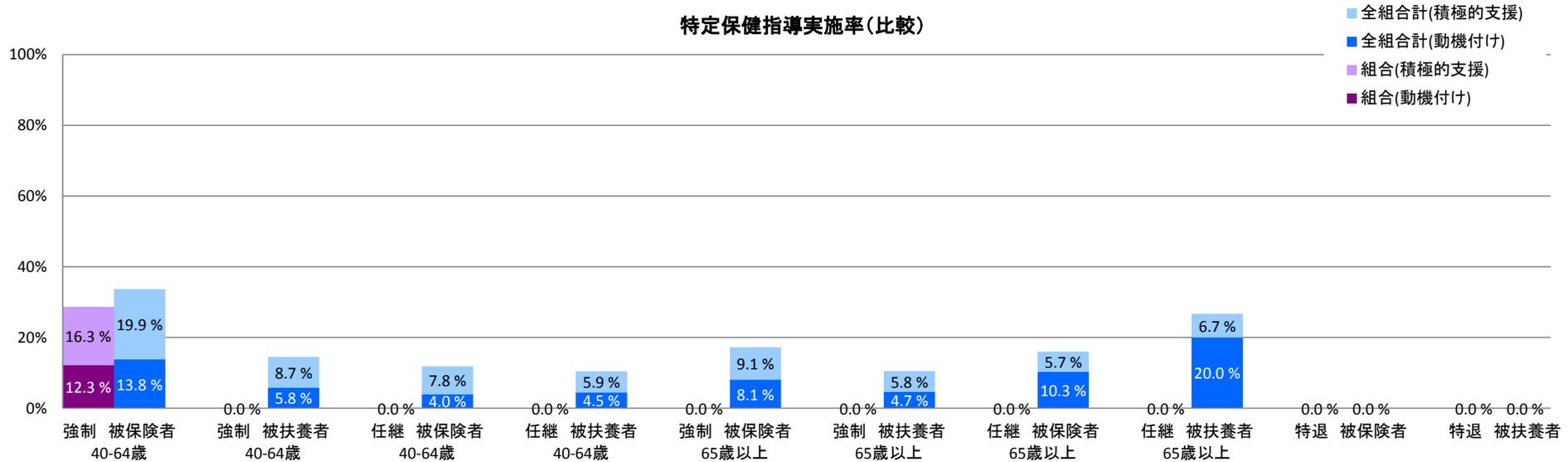
特定健診受診率(比較)



組合	強 制						任 繼						特 退					
	積極の支援			動機付け支援			積極の支援			動機付け支援			積極の支援			動機付け支援		
年齢区分	合 計	被保険者	被扶養者	合 計	被保険者	被扶養者	合 計	被保険者	被扶養者	合 計	被保険者	被扶養者	合 計	被保険者	被扶養者	合 計	被保険者	被扶養者
40-44歳	13.2%	13.6%	0.0%	17.1%	19.4%	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
45-49歳	12.6%	12.8%	0.0%	12.7%	14.3%	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
50-54歳	15.3%	15.7%	0.0%	12.5%	14.9%	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
55-59歳	9.3%	9.5%	0.0%	25.6%	27.0%	0.0%	0.0%	-	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
60-64歳	4.4%	4.7%	0.0%	4.2%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-	0.0%	-	-	-	-	-	-
65-69歳	-	-	-	0.0%	0.0%	0.0%	-	-	-	0.0%	0.0%	0.0%	-	-	-	-	-	-
70-74歳	-	-	-	0.0%	0.0%	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
75歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	12.0%	12.3%	0.0%	11.9%	13.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-	-	-	-	-	-

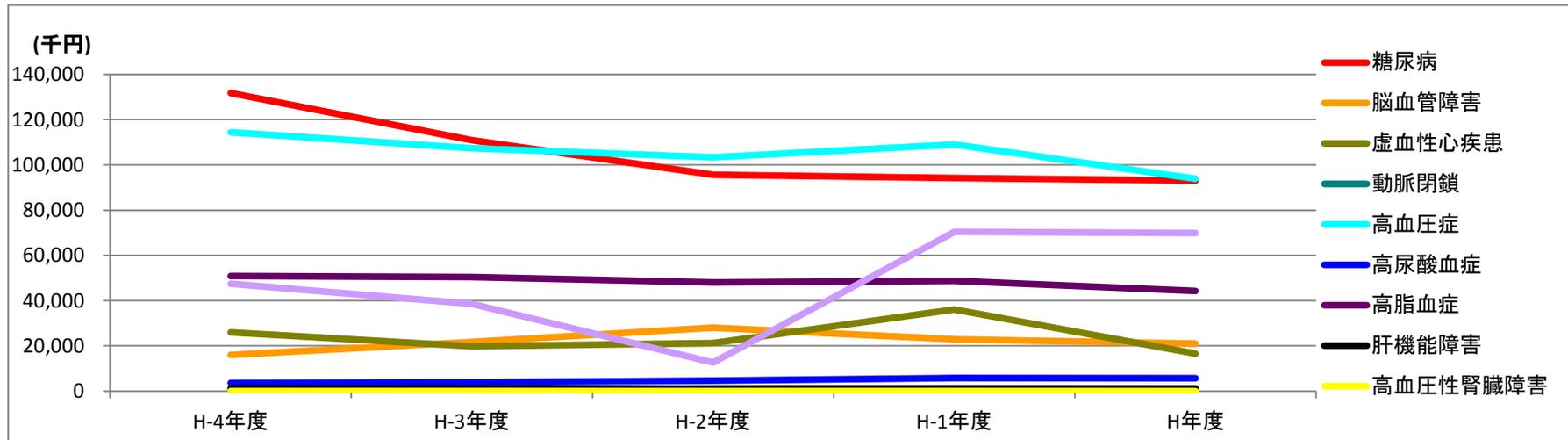
全組合計	強 制						任 繼						特 退					
	積極の支援			動機付け支援			積極の支援			動機付け支援			積極の支援			動機付け支援		
年齢区分	合 計	被保険者	被扶養者	合 計	被保険者	被扶養者	合 計	被保険者	被扶養者	合 計	被保険者	被扶養者	合 計	被保険者	被扶養者	合 計	被保険者	被扶養者
40-44歳	14.3%	14.5%	5.8%	19.4%	20.4%	8.3%	2.3%	2.4%	0.0%	3.4%	3.8%	0.0%	-	-	-	-	-	-
45-49歳	13.4%	13.6%	5.7%	18.7%	19.9%	8.6%	1.6%	1.7%	0.0%	5.2%	6.6%	0.0%	-	-	-	-	-	-
50-54歳	13.9%	14.2%	5.9%	18.9%	20.3%	9.1%	2.8%	2.1%	6.1%	6.2%	7.1%	4.8%	-	-	-	-	-	-
55-59歳	13.8%	14.1%	5.8%	19.0%	20.3%	9.3%	4.0%	3.6%	5.1%	8.6%	10.7%	7.0%	-	-	-	-	-	-
60-64歳	10.9%	11.2%	5.5%	15.5%	16.5%	7.8%	4.4%	4.4%	4.2%	7.3%	7.8%	6.0%	-	-	-	-	-	-
65-69歳	8.5%	8.7%	7.1%	8.9%	9.3%	6.0%	12.1%	11.3%	25.0%	5.9%	5.8%	6.7%	-	-	-	-	-	-
70-74歳	0.0%	0.0%	0.0%	7.2%	7.9%	5.4%	0.0%	0.0%	0.0%	4.4%	4.3%	5.8%	-	-	-	-	-	-
75歳以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	13.6%	13.8%	5.8%	18.2%	19.4%	8.5%	4.1%	4.0%	4.6%	6.4%	6.5%	6.1%	-	-	-	-	-	-

特定保健指導実施率(比較)



2016年度・組合(強制)・医科合計・男女計・年齢計

	H-4年度		H-3年度		H-2年度		H-1年度		H年度	
	医療費総額	比較指数	医療費総額	比較指数	医療費総額	比較指数	医療費総額	比較指数	医療費総額	比較指数
糖尿病	131,750,500	1.00	110,925,670	1.00	95,616,160	1.00	94,236,690	1.00	93,033,350	1.00
脳血管障害	15,998,450	1.00	21,675,340	1.00	28,038,280	1.00	22,931,180	1.00	21,034,080	1.00
虚血性心疾患	25,961,830	1.00	19,851,950	1.00	21,180,150	1.00	36,088,470	1.00	16,558,160	1.00
動脈閉鎖	5,740	1.00	2,240	1.00	92,330	1.00	716,720	1.00	612,980	1.00
高血圧症	114,401,560	1.00	107,379,280	1.00	103,332,590	1.00	109,036,870	1.00	93,865,990	1.00
高尿酸血症	3,598,720	1.00	3,953,590	1.00	4,578,450	1.00	5,776,870	1.00	5,729,700	1.00
高脂血症	50,881,920	1.00	50,355,600	1.00	48,088,740	1.00	48,805,330	1.00	44,270,030	1.00
肝機能障害	1,226,910	1.00	1,104,130	1.00	1,141,250	1.00	1,259,020	1.00	1,234,230	1.00
高血圧性腎臓障害	20,320	1.00	41,520	1.00	36,190	1.00	20,240	1.00	20,500	1.00
人工透析	47,416,650	1.00	38,590,200	1.00	12,627,450	1.00	70,378,500	1.00	69,870,080	1.00



組合(強制)

		合計			40~44歳			45~49歳			50~54歳			55~59歳					
		人数	割合		人数	割合		人数	割合		人数	割合		人数	割合				
特定健診対象者数		5108	-	-	1308	-	-	1170	-	-	839	-	-	741	-	-			
特定健診受診者数(受診率)		5108	100.0%	-	1308	100.0%	-	1170	100.0%	-	839	100.0%	-	741	100.0%	-			
腹囲(男性)85cm以上・(女性)90cm以上者		2326	45.5%	-	558	42.7%	-	526	45.0%	-	372	44.3%	-	337	45.5%	-			
(再) 有所見の 重複状況	腹囲のみ	高血糖	高血圧	高脂血	人数	割合①	割合②												
					1,280	25.1%	55.0%	427	32.6%	76.5%	352	30.1%	66.9%	195	23.2%	52.4%	146	19.7%	43.3%
	予備群	●			121	2.4%	5.2%	33	2.5%	5.9%	25	2.1%	4.8%	21	2.5%	5.6%	10	1.3%	3.0%
			●		176	3.4%	7.6%	19	1.5%	3.4%	37	3.2%	7.0%	32	3.8%	8.6%	38	5.1%	11.3%
				●	75	1.5%	3.2%	18	1.4%	3.2%	12	1.0%	2.3%	20	2.4%	5.4%	12	1.6%	3.6%
	該当者	●	●		117	2.3%	5.0%	9	0.7%	1.6%	17	1.5%	3.2%	23	2.7%	6.2%	22	3.0%	6.5%
		●		●	117	2.3%	5.0%	20	1.5%	3.6%	20	1.7%	3.8%	21	2.5%	5.6%	19	2.6%	5.6%
			●	●	141	2.8%	6.1%	9	0.7%	1.6%	21	1.8%	4.0%	17	2.0%	4.6%	31	4.2%	9.2%
		●	●	●	299	5.9%	12.9%	23	1.8%	4.1%	42	3.6%	8.0%	43	5.1%	11.6%	59	8.0%	17.5%
	メタボ予備軍		372	7.3%	16.0%	70	5.4%	12.5%	74	6.3%	14.1%	73	8.7%	19.6%	60	8.1%	17.8%		
メタボ該当者		674	13.2%	29.0%	61	4.7%	10.9%	100	8.5%	19.0%	104	12.4%	28.0%	131	17.7%	38.9%			

		60~64歳			65~69歳			70~74歳			75歳以上					
		人数	割合		人数	割合		人数	割合		人数	割合				
特定健診対象者数		639	-	-	339	-	-	72	-	-	0	-	-			
特定健診受診者数(受診率)		639	100.0%	-	339	100.0%	-	72	100.0%	-	0	-	-			
腹囲(男性)85cm以上・(女性)90cm以上者		332	52.0%	-	168	49.6%	-	33	45.8%	-	0	-	-			
(再) 有所見の 重複状況	腹囲のみ	高血糖	高血圧	高脂血	人数	割合①	割合②	人数	割合①	割合②	人数	割合①	割合②			
					107	16.7%	32.2%	46	13.6%	27.4%	7	9.7%	21.2%	0	-	-
	予備群	●			20	3.1%	6.0%	10	2.9%	6.0%	2	2.8%	6.1%	0	-	-
			●		35	5.5%	10.5%	12	3.5%	7.1%	3	4.2%	9.1%	0	-	-
				●	9	1.4%	2.7%	3	0.9%	1.8%	1	1.4%	3.0%	0	-	-
	該当者	●	●		23	3.6%	6.9%	19	5.6%	11.3%	4	5.6%	12.1%	0	-	-
		●		●	21	3.3%	6.3%	13	3.8%	7.7%	3	4.2%	9.1%	0	-	-
			●	●	38	5.9%	11.4%	24	7.1%	14.3%	1	1.4%	3.0%	0	-	-
		●	●	●	79	12.4%	23.8%	41	12.1%	24.4%	12	16.7%	36.4%	0	-	-
	メタボ予備群		64	10.0%	19.3%	25	7.4%	14.9%	6	8.3%	18.2%	0	-	-		
メタボ該当者		161	25.2%	48.5%	97	28.6%	57.7%	20	27.8%	60.6%	0	-	-			

組合(強制)

生活習慣病・健診レベル判定分布(対前年変化)

男性		A.非肥満		B.肥満	
H年度	人数	割合	人数	割合	
1.基準範囲内	564	15.33%	270	7.34%	
2.保健指導基準値以上	547	14.86%	590	16.03%	
3.受診勧奨基準値以上	279	7.58%	514	13.97%	
4.服薬投与	256	6.96%	659	17.91%	

H-1年度		A.非肥満		B.肥満	
	人数	割合	人数	割合	
1.基準範囲内	525	14.82%	264	7.45%	
2.保健指導基準値以上	513	14.48%	585	16.52%	
3.受診勧奨基準値以上	293	8.27%	494	13.95%	
4.服薬投与	253	7.14%	614	17.33%	

改善率
17.15%

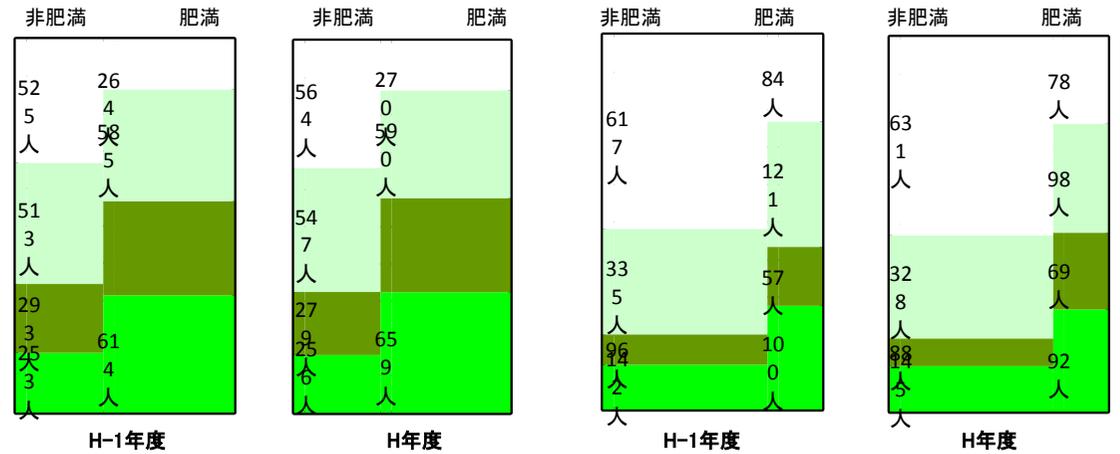
改悪率
11.85%

女性		A.非肥満		B.肥満	
H年度	人数	割合	人数	割合	
1.基準範囲内	631	41.21%	78	5.09%	
2.保健指導基準値以上	328	21.42%	98	6.40%	
3.受診勧奨基準値以上	88	5.75%	69	4.51%	
4.服薬投与	145	9.47%	92	6.01%	

H-1年度		A.非肥満		B.肥満	
	人数	割合	人数	割合	
1.基準範囲内	617	39.76%	84	5.41%	
2.保健指導基準値以上	335	21.59%	121	7.80%	
3.受診勧奨基準値以上	96	6.19%	57	3.67%	
4.服薬投与	142	9.15%	100	6.44%	

改善率
13.48%

改悪率
2.92%



※ 改善率の計算の定義

$$\frac{B2, B3 \text{ だった者のうち、} A1 \sim A3 \text{ または } B1 \text{ へ移動した者の人数}}{B2, B3 \text{ だった者の人数}}$$

※ 改悪率の計算の定義

$$\frac{A1 \sim A3 \text{ または } B1 \text{ だった者のうち、} B2, B3 \text{ へ移動した者の人数}}{A1 \sim A3 \text{ または } B1 \text{ だった者の人数}}$$

非肥満	肥満
A1 規準範囲内	B1 規準範囲内
A2 保健指導基準値以上	B2 保健指導基準値以上
A3 受診勧奨基準値以上	B3 受診勧奨基準値以上
A4 服薬投与	B4 服薬投与

組合(強制)

生活習慣病・健診レベル判定分布(対前年変化)

男性		A.非肥満		B.肥満	
H年度	人数	割合	人数	割合	
1.基準範囲内	525	14.82%	264	7.45%	
2.保健指導基準値以上	513	14.48%	585	16.52%	
3.受診勧奨基準値以上	293	8.27%	494	13.95%	
4.服薬投与	253	7.14%	614	17.33%	

H-1年度		A.非肥満		B.肥満	
人数	割合	人数	割合	人数	割合
1.基準範囲内	585	16.55%	244	6.90%	
2.保健指導基準値以上	471	13.32%	516	14.60%	
3.受診勧奨基準値以上	322	9.11%	502	14.20%	
4.服薬投与	281	7.95%	614	17.37%	

改善率
14.44%

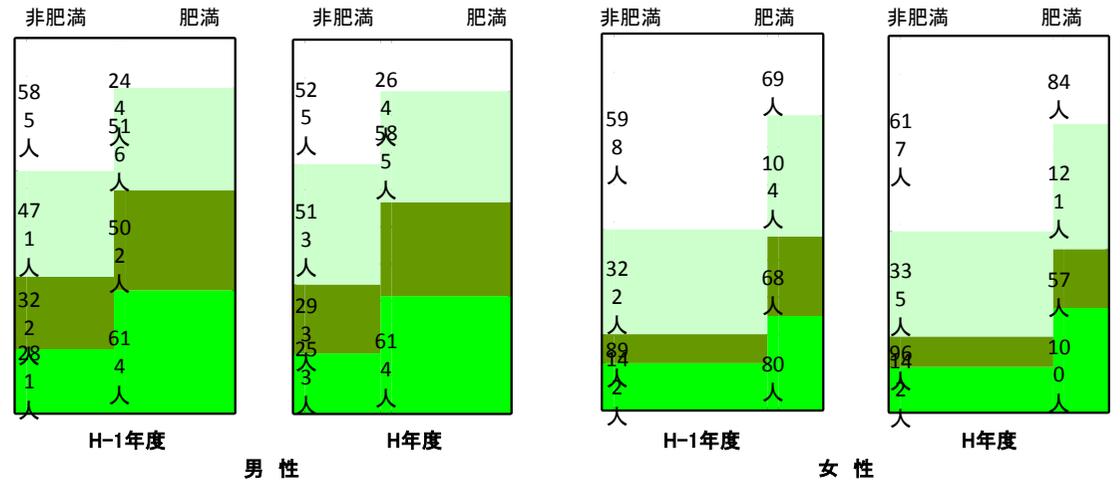
改悪率
13.13%

女性		A.非肥満		B.肥満	
H年度	人数	割合	人数	割合	
1.基準範囲内	617	39.76%	84	5.41%	
2.保健指導基準値以上	335	21.59%	121	7.80%	
3.受診勧奨基準値以上	96	6.19%	57	3.67%	
4.服薬投与	142	9.15%	100	6.44%	

H-1年度		A.非肥満		B.肥満	
人数	割合	人数	割合	人数	割合
1.基準範囲内	598	40.62%	69	4.69%	
2.保健指導基準値以上	322	21.88%	104	7.07%	
3.受診勧奨基準値以上	89	6.05%	68	4.62%	
4.服薬投与	142	9.65%	80	5.43%	

改善率
12.79%

改悪率
3.53%



※ 改善率の計算の定義

$$\frac{B2, B3 \text{ だった者のうち、} A1 \sim A3 \text{ または } B1 \text{ へ移動した者の人数}}{B2, B3 \text{ だった者の人数}}$$

※ 改悪率の計算の定義

$$\frac{A1 \sim A3 \text{ または } B1 \text{ だった者のうち、} B2, B3 \text{ へ移動した者の人数}}{A1 \sim A3 \text{ または } B1 \text{ だった者の人数}}$$

非肥満	肥満
A1 規準範囲内	B1 規準範囲内
A2 保健指導基準値以上	B2 保健指導基準値以上
A3 受診勧奨基準値以上	B3 受診勧奨基準値以上
A4 服薬投与	B4 服薬投与

組合(強制)

生活習慣病・健診レベル判定分布(対前年変化)

男性		A.非肥満		B.肥満	
H年度	人数	割合	人数	割合	
1.基準範囲内	585	16.55%	244	6.90%	
2.保健指導基準値以上	471	13.32%	516	14.60%	
3.受診勧奨基準値以上	322	9.11%	502	14.20%	
4.服薬投与	281	7.95%	614	17.37%	

H-1年度		A.非肥満		B.肥満	
	人数	割合	人数	割合	
1.基準範囲内	504	14.31%	187	5.31%	
2.保健指導基準値以上	576	16.35%	512	14.53%	
3.受診勧奨基準値以上	319	9.05%	507	14.39%	
4.服薬投与	286	8.12%	623	17.68%	

改善率
16.98%

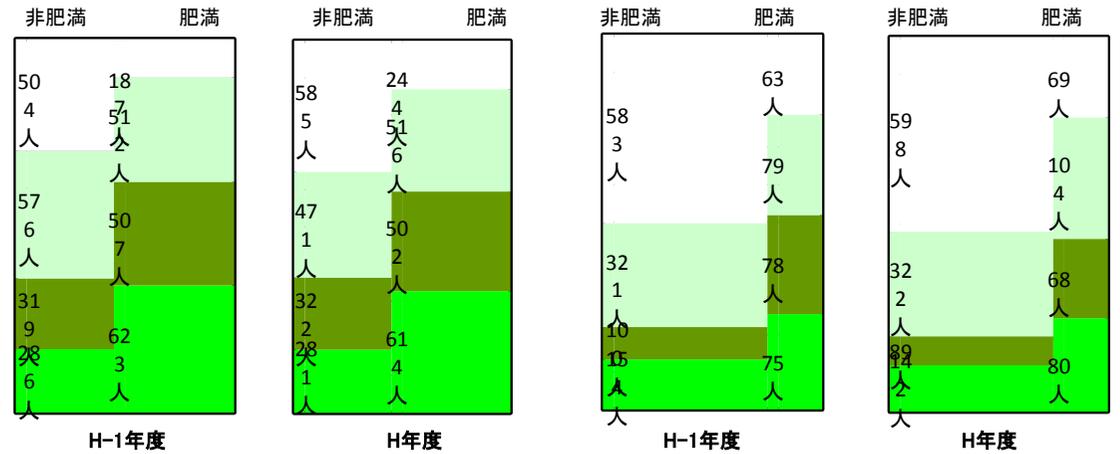
改悪率
11.10%

女性		A.非肥満		B.肥満	
H年度	人数	割合	人数	割合	
1.基準範囲内	598	40.62%	69	4.69%	
2.保健指導基準値以上	322	21.88%	104	7.07%	
3.受診勧奨基準値以上	89	6.05%	68	4.62%	
4.服薬投与	142	9.65%	80	5.43%	

H-1年度		A.非肥満		B.肥満	
	人数	割合	人数	割合	
1.基準範囲内	583	40.07%	63	4.33%	
2.保健指導基準値以上	321	22.06%	79	5.43%	
3.受診勧奨基準値以上	100	6.87%	78	5.36%	
4.服薬投与	154	10.58%	75	5.15%	

改善率
19.11%

改悪率
3.19%



※ 改善率の計算の定義

$$\frac{B2, B3 \text{ だった者のうち、} A1 \sim A3 \text{ または } B1 \text{ へ移動した者の人数}}{B2, B3 \text{ だった者の人数}}$$

※ 改悪率の計算の定義

$$\frac{A1 \sim A3 \text{ または } B1 \text{ だった者のうち、} B2, B3 \text{ へ移動した者の人数}}{A1 \sim A3 \text{ または } B1 \text{ だった者の人数}}$$

非肥満	肥満
A1 規準範囲内	B1 規準範囲内
A2 保健指導基準値以上	B2 保健指導基準値以上
A3 受診勧奨基準値以上	B3 受診勧奨基準値以上
A4 服薬投与	B4 服薬投与

STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	オ, カ	特定健診受診率については、形態別に比較した場合は高いものの、組合全体での比較になると若干低い。	➔	本人・家族の特定健診受診率の向上を目指す。	✓
2	ア, イ	他健保に比べ一人当たり調剤費が高く、特に「被保険者」の一人当たり調剤費が高い。その中でも「60歳以上の一人当たり調剤費」が高い。	➔	さまざまなアプローチで、後発医薬品の促進を図る。	
3	ウ, エ, ク	糖尿病予防教室を毎年、開催しており資料の「生活習慣病医療費の経年変化」にもあるように一定の対策効果があると思われる。しかし、資料の「生活習慣病 医療費 比較分析」では、他健保と比較して「一人あたり医療費」等が高いことがわかる	➔	今後も「糖尿病予防教室」の保健事業を継続していくことも大事だが、糖尿病が生活習慣病医療費の中ではいまだ高い位置を示しているため、予防強化のためにも、この「糖尿病予防教室」の質を高めていくことが必要。	✓
4	キ	他健保と比較して、特定保健指導率（積極的支援、動機付け支援）が低い。	➔	本人・家族の特定保健指導率の向上を目指す。	✓
5	ケ	特定健診受診対象者のうち、メタボ該当者が占める割合は、約13パーセント。	➔	毎年、「脱メタボ教室」を開催しているため、特定健診受診対象者のうち「メタボ該当者」の占める割合（人数）を減少させる。	✓
6	コ, サ, シ	2014、2015、2016年の3年平均で「改善率」男性16.19%・女性15.13% 「改悪率」男性12%・女性3.21% 「改善率」は男性・女性ともにほぼ同じパーセントだが、「改悪率」が女性と比較して男性は非常に高い。	➔	今後も改善率の上昇も考慮しなければならないところだが、男性の改悪率を抑制するのが今後の課題と思われる。	

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	平均年齢が男性43歳、女性40歳と高い。男女比は、男性の比率が高い。	➔	平均年齢が高いことから、生活習慣病対策は特に重要事項と思われる。
2	事業所数は112社あるが、多くの事業所は、当健保組合と同じ神奈川県内に所在している。	➔	多くの事業所は、当健保組合と同じ神奈川県内に所在しており、比較的近いので、その地の利を生かしていきたい。

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	比較的多数の保健事業を行っている。 特に生活習慣病対策としての保健事業に力を入れている	➔	数多くの保健事業を行っているが、その保健事業に対しての効果が検証できていないものがある。 加入者に対して、保健事業に参加しやすいような環境づくりが必要と思われる。

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的

- ・特定健診の受診率向上を目指す
- ・生活習慣病医療費の中で高い位置を示している糖尿病の罹患者の減少を目指す。
- ・生活習慣病を未然に防ぐため、メタボ予備軍・該当者の減少を目指す。

事業全体の目標

- ・特定健診受診率を平成35年度には85%を目標とする。
- ・特定健診受診率を他健保組合の平均以上を目標とする。
- ・「糖尿病」一人当たり医療費を他健保組合の平均以下を目標とする。
- ・特定健診受診対象者のうち、メタボ判定該当者が占める割合を7%以下を目標とする。
- ・特定保健指導実施率を平成35年度に30%を目標とする。

事業の一覧

職場環境の整備

保健指導宣伝	健康管理事業推進委員会
--------	-------------

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	事務説明会及び事務講習会
保健指導宣伝	機関誌の発行

個別の事業

特定健康診査事業	特定健康診査
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	後発医薬品の使用促進
保健指導宣伝	育児誌の配布
保健指導宣伝	健康者表彰
保健指導宣伝	ホームページ
保健指導宣伝	重複・頻回受診者対策
疾病予防	糖尿病重症化予防
疾病予防	生活習慣病予防（脱メタボ教室）
疾病予防	健康診査の補助（生活習慣病・人間ドック・精密検査）
疾病予防	家庭常備薬の配布
疾病予防	冬季疾病予防対策（インフルエンザ予防接種）
体育奨励	家族連れバスハイキング
体育奨励	健康づくりの奨励
体育奨励	健康ウォーキング大会
体育奨励	ウォーキング支援

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者									
アウトプット指標												アウトカム指標				
職場環境の整備																
保健指導宣伝	1	既存(法定)	健康管理事業推進委員会	全て	男女	18～74	被保険者,その他	3	シ,ス	年4回以上開催	ア,コ,ス	-	年4回以上開催し保健事業等の実施計画を検討する。	保健事業の中長期にわたる企画立案、実施計画の策定及び実施計画の分析・評価を行う。	<p>特定健診受診率については、形態別に比較した場合は高いものの、組合全体での比較になると若干低い。</p> <p>他健保に比べ一人当たり調剤費が高く、特に「被保険者」の一人当たり調剤費が高い。その中でも「60歳以上の一人当たり調剤費」が高い。</p> <p>糖尿病予防教室を毎年、開催しており資料の「生活習慣病医療費の経年変化」にもあるように一定の対策効果があると思われる。しかし、資料の「生活習慣病 医療費 比較分析」では、他健保と比較して「一人あたり医療費」等が高いことがわかる</p> <p>他健保と比較して、特定保健指導率（積極的支援、動機付け支援）が低い。</p> <p>特定健診受診対象者のうち、メタが該当者が占める割合は、約13パーセント。</p> <p>2014、2015、2016年の3年平均で「改善率」男性16.19%・女性15.13% 「改悪率」男性12%・女性3.21% 「改善率」は男性・女性ともにほぼ同じパーセントだが、「改悪率」が女性と比較して男性は非常に高い。</p>	
															委員会開催回数(【実績値】 - 【目標値】 令和元年度：4回)年4回以上開催し保健事業等の実施計画を検討する。	保健事業の中長期にわたる企画立案、実施計画の策定実施計画の分析・評価をおこなうため、アウトカム指標の設定は困難(アウトカムは設定されていません)
加入者への意識づけ																
保健指導宣伝	2,5,7,8	既存	事務説明会及び事務講習会	全て	男女	18～74	被保険者,その他	1	シ,ス	年2回以上開催	コ,ス	-	当組合の事業運営及び保健事業内容を、事業所担当者に周知。	当組合の事業運営及び保健事業内容を、事業所担当者に周知。	<p>特定健診受診率については、形態別に比較した場合は高いものの、組合全体での比較になると若干低い。</p> <p>他健保に比べ一人当たり調剤費が高く、特に「被保険者」の一人当たり調剤費が高い。その中でも「60歳以上の一人当たり調剤費」が高い。</p> <p>糖尿病予防教室を毎年、開催しており資料の「生活習慣病医療費の経年変化」にもあるように一定の対策効果があると思われる。しかし、資料の「生活習慣病 医療費 比較分析」では、他健保と比較して「一人あたり医療費」等が高いことがわかる</p> <p>他健保と比較して、特定保健指導率（積極的支援、動機付け支援）が低い。</p> <p>2014、2015、2016年の3年平均で「改善率」男性16.19%・女性15.13% 「改悪率」男性12%・女性3.21% 「改善率」は男性・女性ともにほぼ同じパーセントだが、「改悪率」が女性と比較して男性は非常に高い。</p>	
															開催通知送付率(【実績値】 - 【目標値】 令和元年度：100%)全事業所に対して事務講習会及び事務説明会の開催案内を送付。	事業所(事務担当者)参加率(【実績値】 - 【目標値】 令和元年度：50%以上)-
2,5,7	既存	機関誌の発行	全て	男女	18～74	被保険者	1	ス	年4回(春・夏・秋・冬号)全被保険者に配布	ス	-	年4回(春・夏・秋・冬号)全被保険者に配布	年4回(春・夏・秋・冬号)全被保険者に配布	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	<p>健康保険法の改正や保健事業の実施状況の周知を目的としているため設定は困難(アウトカムは設定されていません)</p>	
															機関誌発行回数(【実績値】 4回 【目標値】 令和元年度：4回)年4回(春・夏・秋・冬号)全被保険者に配布	
個別の事業																

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者									
アウトプット指標												アウトカム指標				
特定健康診査事業	3,4	既存(法定)	特定健康診査	全て	男女	40～74	加入者全員	1	イ,ウ,エ,オ,キ,ケ	ア,ウ	・健康管理室(保健師、看護師等を中心として実施)		受診率74% -平成30年度、平成31年度の評価を行い、目標と大きくかけ離れた場合、その他必要がある場合には見直す。	・特定健診受診率を平成35年度において、85%以上を目標とする。 ・家族の特定健診受診率の向上を目指す。	特定健診受診率については、形態別に比較した場合は高いものの、組合全体での比較になると若干低い。 糖尿病予防教室を毎年、開催しており資料の「生活習慣病医療費の経年変化」にもあるように一定の対策効果があると思われる。しかし、資料の「生活習慣病 医療費 比較分析」では、他健保と比較して「一人あたり医療費」等が高いことがわかる 特定健診受診対象者のうち、メタボ該当者が占める割合は、約13パーセント。 2014、2015、2016年の3年平均で「改善率」男性16.19%・女性15.13% 「改悪率」男性12%・女性3.21% 「改善率」は男性・女性ともにほぼ同じパーセントだが、「改悪率」が女性と比較して男性は非常に高い。	
																特定健診受診案内送付率(【実績値】100% 【目標値】令和元年度：100%)家族には、直接、特定健診受診案内を送付する。
特定保健指導事業	4,5	既存(法定)	特定保健指導	全て	男女	40～74	加入者全員	1	イ,ク,コ,シ	ア,イ,コ	・健康管理室(保健師等を中心として実施)		特定保健指導率18%を目標とする。 (被保険者18%、被扶養者15%)	・平成35年度における特定保健指導の実施率を30%とする。 ・この目標を達成するために、平成30年度以降段階的な目標実施率を「第3期特定健康診査実施計画」に定める。 ・横浜及びその近隣地域の加入員に対する特定保健指導の実施については、当組合の健康管理室において、実施することを基本とする。 ・事業所の要望または、当組合の医師・保健師等の判断に基づき、保健指導を必要とする場合は、健康管理委員と連絡のうえ、当該医療スタッフが事業所を訪問して特定保健指導を実施する。 ・当組合の健康管理室を利用することが困難な者に対しては、利便性のある他の健診委託機関で特定保健指導ができるよう委託して行う。 ・今後は、北海道・九州等遠隔地の者についても特定保健指導が受けられるように、健診委託機関の委託先を増やしていく。	特定健診受診率については、形態別に比較した場合は高いものの、組合全体での比較になると若干低い。 糖尿病予防教室を毎年、開催しており資料の「生活習慣病医療費の経年変化」にもあるように一定の対策効果があると思われる。しかし、資料の「生活習慣病 医療費 比較分析」では、他健保と比較して「一人あたり医療費」等が高いことがわかる 他健保と比較して、特定保健指導率(積極的支援、動機付け支援)が低い。 2014、2015、2016年の3年平均で「改善率」男性16.19%・女性15.13% 「改悪率」男性12%・女性3.21% 「改善率」は男性・女性ともにほぼ同じパーセントだが、「改悪率」が女性と比較して男性は非常に高い。	
																特定保健指導率(【実績値】 - 【目標値】令和元年度：18%)
												改善率(女性)(【実績値】 - 【目標値】令和元年度：15%以上)『生活習慣病・健診レベル判定分布の経年変化』の集計表で算出される「改善率」				
保健指導宣伝	2,7,8	既存	後発医薬品の使用促進	全て	男女	0～74	加入者全員	1	イ,ウ	ス			-後発医薬品使用割合70%	一人当たり調剤費が、他健保平均よりも高いことから差額通知等を使用して調剤費を他健保平均以下を目標とする 平成32年度には、後発医薬品使用割合80%を目標とする	他健保に比べ一人当たり調剤費が高く、特に「被保険者」の一人当たり調剤費が高い。その中でも「60歳以上の一人当たり調剤費」が高い。	
																差額通知案内(【実績値】 - 【目標値】令和元年度：65%)後発医薬品に変更した場合の差額を、Web医療費通知等に記載し、加入者に案内する。
6,8	既存	育児誌の配布	全て	男女	18～74	加入者全員	1	ス	初産に対して1年間(毎月)育児誌を配布	ス			-初産に対して1年間(毎月)育児誌を配布	初産に対して1年間(毎月)育児誌を配布	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
配布(【実績値】1年間 【目標値】令和元年度：1年間)初産に対して1年間(毎月)育児誌を配布												育児にたいする正しい知識等を持ってもらうことが目的のため設定は困難(アウトカムは設定されていません)				
2,8	既存	健康者表彰	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ア,ス	健康者へのインセンティブとして1年間健康に過ごした方を表彰	ス			-年1回実施	年1回実施	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
実施回数(【実績値】1回 【目標値】令和元年度：1回)健康者へのインセンティブとして1年間健康に過ごした方を表彰												医療費・調剤費削減の対策事業である「糖尿病重症化予防」「生活習慣病予防(脱メタボ教室)」「後発医薬品の使用促進」の実施手段のひとつとして行うため設定が困難(アウトカムは設定されていません)				
2,5,8	既存	ホームページ	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス		ス			-通年実施	通年実施	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)	
ホームページ更新回数(月)(【実績値】1回 【目標値】令和元年度：1回)												健康保険法の改正や保健事業の実施状況の周知を目的としているため設定は困難(アウトカムは設定されていません)				

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者									
アウトプット指標												アウトカム指標				
4	新規	重複・頻回受診者対策	全て	男女	0～74	加入者全員	1	キ	適正受診を促すためにパンフレットを送付	イ	外部委託事業者と連携		対象者を抽出（○重複受診者・・・1ヵ月に2医療機関以上に通院している ○頻回受診者・・・1ヵ月に15日以上通院している）して、受診者に適正に受診を促すためのパンフレットを送付する。 （※①透析患者 ②がん患者 ③リハビリ患者 ④精神疾患患者 ⑤六歳未満の患者は、今回は通知対象外とする）	2019年3月、4月、5月診療分の重複・頻回受診者を抽出し、その対象者に受診適正化の案内パンフレットを送付する。 重複・頻回受診者の2019年3月、4月、5月の医療費と、その後の2019年10月、11月、12月の医療費を比較して、10%の医療費削減を目標とする。	他健保に比べ一人当たり調剤費が高く、特に「被保険者」の一人当たり調剤費が高い。その中でも「60歳以上の一人当たり調剤費」が高い。	
発送率(【実績値】 - 【目標値】令和元年度：100%)重複受診者（1ヵ月に2医療機関以上）や頻回受診者（1ヵ月に15日以上通院）に適正に受診を促すためのパンフレットを送付												重複・頻回受診者医療費(【実績値】 - 【目標値】令和元年度：10%)重複受診者（1ヵ月に2医療機関以上）や頻回受診者（1ヵ月に15日以上通院）の1ヵ月平均総医療費10%削減				
疾病予防	4,5	既存	糖尿病重症化予防	全て	男女	18～74	加入者全員,基準該当者	1	オ,キ,ク,ケ,コ,シ	・毎年、教室を開催する ・機関誌などを通じて教室の開催内容等を加入員にお知らせをする	ア,イ,コ	・健康管理室の保健師、看護師を中心として実施する	-HbA1c:8.0%以上の未受診者の減少のため、各事業所と協力して対象者全員へ受診勧奨を実施	HbA1c:8.0%以上の未受診者の減少のため、各事業所と協力して対象者全員へ受診勧奨を実施	糖尿病予防教室を毎年、開催しており資料の「生活習慣病医療費の経年変化」にもあるように一定の対策効果があると思われる。しかし、資料の「生活習慣病 医療費 比較分析」では、他健保と比較して「一人あたり医療費」等が高いことがわかる 2014、2015、2016年の3年平均で「改善率」男性16.19%・女性15.13% 「改悪率」男性12%・女性3.21% 「改善率」は男性・女性ともにほぼ同じパーセントだが、「改悪率」が女性と比較して男性は非常に高い。	
	受診率(【実績値】 85% 【目標値】令和元年度：85%)HbA1c:8.0%以上の未受診者の減少のため、各事業所と協力して対象者全員へ受診勧奨を実施												受診率(【実績値】 80% 【目標値】令和元年度：80%)HbA1c:8.0%以上の未受診者の減少のため、各事業所と協力して対象者全員へ受診勧奨を実施			
	糖尿病予防教室参加率(【実績値】 14% 【目標値】令和元年度：18%)HbA1c：6.5～7.9の対象者の減少のため糖尿病予防教室の参加率を上げる。												対象者の割合(【実績値】 3.8% 【目標値】令和元年度：3.6%)HbA1c：6.5～7.9の対象者の減少			
	糖尿病予防教室参加率(【実績値】 14% 【目標値】令和元年度：18%)HbA1c：5.8～6.4対象者の減少のため糖尿病予防教室を実施												対象者の割合(【実績値】 10% 【目標値】令和元年度：9%)HbA1c：5.8～6.4対象者の減少			
	資料配布・指導率(【実績値】 - 【目標値】令和元年度：10%)糖尿病予防教室対象者が参加できなかった場合は、食事や運動などの資料を送付する。												-			
2,4,5	既存	生活習慣病予防(脱メタボ教室)	全て	男女	18～74	加入者全員	1	オ,ク,ケ,コ,シ	・毎年、教室を開催する ・機関誌などを通じて教室の開催内容等を加入員にお知らせをする	ア,イ,コ	・健康管理室の保健師、看護師を中心として実施する	-脱メタボ教室参加率16%	生活習慣病医療費削減の為に、毎年、「脱メタボ教室」を開催し教室参加率20%を目指す。 平成35年度 メタボ該当者改善率50%を目標	他健保と比較して、特定保健指導率（積極的支援、動機付け支援）が低い。 2014、2015、2016年の3年平均で「改善率」男性16.19%・女性15.13% 「改悪率」男性12%・女性3.21% 「改善率」は男性・女性ともにほぼ同じパーセントだが、「改悪率」が女性と比較して男性は非常に高い。 特定健診受診対象者のうち、メタボ該当者が占める割合は、約13パーセント。		
脱メタボ教室参加率(【実績値】 13% 【目標値】令和元年度：16%)脱メタボ教室対象者に対して、参加率を向上させる。												メタボ該当者改善率(【実績値】 - 【目標値】令和元年度：45%)特定健診受診対象者のうちメタボ該当者が占める割合が減る。				
パンフレット配布率(【実績値】 - 【目標値】令和元年度：100%)脱メタボ教室対象者が、教室に参加できなかった場合、食事や運動のポイントが掲載されたパンフレットを配布する。												-				
3,4,8	既存	健康診査の補助(生活習慣病・人間ドック・精密検査)	全て	男女	18～74	加入者全員	1	イ,ウ,キ,シ,ス	健康管理室を利用できない方への健診補助をする ・健康診断 ・生活習慣病 ・人間ドック ・脳ドック ・肺ドック ・オプション検査(前立腺、子宮がん、乳がん)	ス	・健康管理室	-通年実施	健康管理室を利用できない方への健診補助種類数を6とする【健康診断・生活習慣病・人間ドック・脳ドック・肺ドック・オプション検査(前立腺、子宮がん、乳がん)】	他健保に比べ一人当たり調剤費が高く、特に「被保険者」の一人当たり調剤費が高い。その中でも「60歳以上の一人当たり調剤費」が高い。 2014、2015、2016年の3年平均で「改善率」男性16.19%・女性15.13% 「改悪率」男性12%・女性3.21% 「改善率」は男性・女性ともにほぼ同じパーセントだが、「改悪率」が女性と比較して男性は非常に高い。		
補助種類数(【実績値】 6種類 【目標値】令和元年度：6種類)健康管理室を利用できない方への健診補助をする ・健康診断 ・生活習慣病 ・人間ドック ・脳ドック ・肺ドック ・オプション検査(前立腺、子宮がん、乳がん)												医療費・調剤費削減の対策事業である「糖尿病重症化予防」「生活習慣病予防(脱メタボ教室)」「後発医薬品の使用促進」の実施手段のひとつとして行うため設定が困難(アウトカムは設定されていません)				
2,8	既存	家庭常備薬の配布	全て	男女	18～74	被保険者	1	ス	被保険者すべてに配布	ス	-	-被保険者すべてに配布	被保険者すべてに配布	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)		
配布回数(【実績値】 1回 【目標値】令和元年度：1回)被保険者すべてに配布												医療費・調剤費削減の対策事業である「糖尿病重症化予防」「生活習慣病予防(脱メタボ教室)」「後発医薬品の使用促進」の実施手段のひとつとして行うため設定が困難(アウトカムは設定されていません)				

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者									
アウトプット指標												アウトカム指標				
3,8	冬季疾病予防対策（インフルエンザ予防接種）	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	健康管理室においてインフルエンザ予防接種及び補助を実施	ス	-	-	-	年1回実施（10月～12月）	年1回実施（10月～12月）	他健保に比べ一人当たり調剤費が高く、特に「被保険者」の一人当たり調剤費が高い。その中でも「60歳以上の一人当たり調剤費」が高い。	
実施回数（年）（【実績値】1回 【目標値】令和元年度：1回）年1回実施（10月～12月）												-				
												(アウトカムは設定されていません)				
体育奨励	5,8	既存	家族連れバスハイキング	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	ケ,ス	-	-	-	年2回実施	組合加入員の参加者を増やす	他健保に比べ一人当たり調剤費が高く、特に「被保険者」の一人当たり調剤費が高い。その中でも「60歳以上の一人当たり調剤費」が高い。 2014、2015、2016年の3年平均で「改善率」男性16.19%・女性15.13% 「改悪率」男性12%・女性3.21% 「改善率」は男性・女性ともにほぼ同じパーセントだが、「改悪率」が女性と比較して男性は非常に高い。	
	開催回数(【実績値】2回 【目標値】令和元年度：2回)-												医療費・調剤費削減の対策事業である「糖尿病重症化予防」「生活習慣病予防(脱メタボ教室)」「後発医薬品の使用促進」の実施手段のひとつとして行うため設定が困難 (アウトカムは設定されていません)			
2,4,5,8	既存	健康づくりの奨励	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ケ,ス	組合が契約しているスポーツ施設（プール・スケート場）の利用補助	ス	-	-	年2回実施 ・プール（7月～8月） ・スケート（12月～3月）	年2回実施 ・プール（7月～8月） ・スケート（12月～3月）	他健保に比べ一人当たり調剤費が高く、特に「被保険者」の一人当たり調剤費が高い。その中でも「60歳以上の一人当たり調剤費」が高い。 糖尿病予防教室を毎年、開催しており資料の「生活習慣病医療費の経年変化」にもあるように一定の対策効果があると思われる。しかし、資料の「生活習慣病 医療費 比較分析」では、他健保と比較して「一人あたり医療費」等が高いことがわかる 特定健診受診対象者のうち、メタボ該当者が占める割合は、約13パーセント。 2014、2015、2016年の3年平均で「改善率」男性16.19%・女性15.13% 「改悪率」男性12%・女性3.21% 「改善率」は男性・女性ともにほぼ同じパーセントだが、「改悪率」が女性と比較して男性は非常に高い。	
実施回数(【実績値】2回 【目標値】令和元年度：2回)年2回実施 ・プール（7月～8月） ・スケート（12月～3月）												医療費・調剤費削減の対策事業である「糖尿病重症化予防」「生活習慣病予防(脱メタボ教室)」「後発医薬品の使用促進」の実施手段のひとつとして行うため設定が困難 (アウトカムは設定されていません)				
2,4,5,8	既存	健康ウォーキング大会	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ア,ケ,ス	現地集合、現地解散でウォーキング大会を実施	ス	-	-	年2回実施（春・秋）	年2回実施（春・秋）	他健保に比べ一人当たり調剤費が高く、特に「被保険者」の一人当たり調剤費が高い。その中でも「60歳以上の一人当たり調剤費」が高い。 糖尿病予防教室を毎年、開催しており資料の「生活習慣病医療費の経年変化」にもあるように一定の対策効果があると思われる。しかし、資料の「生活習慣病 医療費 比較分析」では、他健保と比較して「一人あたり医療費」等が高いことがわかる 特定健診受診対象者のうち、メタボ該当者が占める割合は、約13パーセント。 2014、2015、2016年の3年平均で「改善率」男性16.19%・女性15.13% 「改悪率」男性12%・女性3.21% 「改善率」は男性・女性ともにほぼ同じパーセントだが、「改悪率」が女性と比較して男性は非常に高い。	
実施回数(【実績値】2回 【目標値】令和元年度：2回)年2回実施（春・秋）												医療費・調剤費削減の対策事業である「糖尿病重症化予防」「生活習慣病予防(脱メタボ教室)」「後発医薬品の使用促進」の実施手段のひとつとして行うため設定が困難 (アウトカムは設定されていません)				

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者									
アウトプット指標												アウトカム指標				
5,8	既存	ウォーキング支援	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	健保連、神奈川歩け歩け協会等が主催する企画イベントに参加費の補助	ケ,ス	-	-	月1回開催される健保連、神奈川歩け歩け協会等が主催する企画イベントに参加費の補助	月1回開催される健保連、神奈川歩け歩け協会等が主催する企画イベントに参加費の補助	<p>他健保に比べ一人当たり調剤費が高く、特に「被保険者」の一人当たり調剤費が高い。その中でも「60歳以上の一人当たり調剤費」が高い。</p> <p>糖尿病予防教室を毎年、開催しており資料の「生活習慣病医療費の経年変化」にもあるように一定の対策効果があると思われる。しかし、資料の「生活習慣病 医療費 比較分析」では、他健保と比較して「一人あたり医療費」等が高いことがわかる</p> <p>特定健診受診対象者のうち、メタが該当者が占める割合は、約13パーセント。</p> <p>2014、2015、2016年の3年平均で「改善率」男性16.19%・女性15.13% 「改悪率」男性12%・女性3.21% 「改善率」は男性・女性ともにほぼ同じパーセントだが、「改悪率」が女性と比較して男性は非常に高い。</p>	
参加費の補助回数(年12回)(【実績値】12回 【目標値】令和元年度:12回)月1回開催される健保連、神奈川歩け歩け協会等が主催する企画イベントに参加費の補助												医療費・調剤費削減の対策事業である「糖尿病重症化予防」「生活習慣病予防(脱メタが教室)」「後発医薬品の使用促進」の実施手段のひとつとして行うため設定が困難(アウトカムは設定されていません)				

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用(情報作成又は情報提供でのICT活用など) オ. 専門職による対面での健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施
キ. 定量的な効果検証の実施 ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 シ. 事業主と健康課題を共有 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 専門職との連携体制の構築(産業医・産業保健師を除く) エ. 他の保険者との共同事業 オ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 カ. 自治体との連携体制の構築 キ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 ク. 保険者協議会との連携体制の構築
ケ. その他の団体との連携体制の構築 コ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) サ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) シ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) ス. その他

STEP 4-1 事業報告

事業の一覧

職場環境の整備

- 1 健康管理事業推進委員会

加入者への意識づけ

- 1 事務説明会及び事務講習会
- 2 機関誌の発行

個別の事業

- 1 特定健康診査
- 2 特定保健指導
- 3 糖尿病重症化予防
- 4 生活習慣病予防（脱メタボ教室）
- 5 後発医薬品の使用促進
- 6 育児誌の配布
- 7 健康者表彰
- 8 ホームページ
- 9 健康診査の補助（生活習慣病・人間ドック・精密検査）
- 10 家庭常備薬の配布
- 11 冬季疾病予防対策（インフルエンザ予防接種）
- 12 家族連れバスハイキング
- 13 健康づくりの奨励
- 14 健康ウォーキング大会
- 15 ウォーキング支援
- 16 重複・頻回受診者対策

【保健事業の基盤】 職場環境の整備

1	事業名	健康管理事業推進委員会								
健康課題との関連	<p>特定健診受診率については、形態別に比較した場合は高いものの、組合全体での比較になると若干低い。</p> <hr/> <p>他健保に比べ一人当たり調剤費が高く、特に「被保険者」の一人当たり調剤費が高い。その中でも「60歳以上の一人当たり調剤費」が高い。</p> <hr/> <p>糖尿病予防教室を毎年、開催しており資料の「生活習慣病医療費の経年変化」にもあるように一定の対策効果があると思われる。しかし、資料の「生活習慣病 医療費 比較分析」では、他健保と比較して「一人あたり医療費」等が高いことがわかる</p> <hr/> <p>他健保と比較して、特定保健指導率（積極的支援、動機付け支援）が低い。</p> <hr/> <p>特定健診受診対象者のうち、メタボ該当者が占める割合は、約13パーセント。</p> <hr/> <p>2014、2015、2016年の3年平均で「改善率」男性16.19%・女性15.13% 「改悪率」男性12%・女性3.21% 「改善率」は男性・女性ともにほぼ同じパーセントだが、「改悪率」が女性と比較して男性は非常に高い。</p>									
	分類									
	注1)事業分類	計画	1-ア	実施主体	計画	3. 健保組合と事業主との共同事業	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	既存(法定)
		実績	1-ア		実績	3. 健保組合と事業主との共同事業				
	事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 被保険者,その他								
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 被保険者,その他								
注2)プロセス分類	計画	シ,ス	実施方法	計画	年4回以上開催	予算額	-千円			
	実績	シ,ス		実績	年4回以上開催					
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,コ,ス	実施体制	計画	-	決算額	-千円			
	実績	ア,コ,ス		実績	年4回実施 6/28 (金) 9/18 (水) 12/16 (月) 3/11 (水)					
実施計画 (令和元年度)	年4回以上開催し保健事業等の実施計画を検討する。									
振り返り	実施状況・時期		特になし							
	成功・推進要因		特になし							
	課題及び阻害要因		特になし							

評価 5. 100%

事業目標

保健事業の中長期にわたる企画立案、実施計画の策定及び実施計画の分析・評価を行う。

アウトプット指標 委員会開催回数（【現行値】 - 【計画値/実績値】 令和元年度：4回/4回 【達成度】 100%）年4回以上開催し保健事業等の実施計画を検討する。[-]

アウトカム指標 保健事業の中長期にわたる企画立案、実施計画の策定実施計画の分析・評価をおこなうため、アウトカム指標の設定は困難
(アウトカムは設定されていません)

【保健事業の基盤】 加入者への意識づけ

1	事業名	事務説明会及び事務講習会								
健康課題との関連	<p>特定健診受診率については、形態別に比較した場合は高いものの、組合全体での比較になると若干低い。</p> <hr/> <p>他健保に比べ一人当たり調剤費が高く、特に「被保険者」の一人当たり調剤費が高い。その中でも「60歳以上の一人当たり調剤費」が高い。</p> <hr/> <p>糖尿病予防教室を毎年、開催しており資料の「生活習慣病医療費の経年変化」にもあるように一定の対策効果があると思われる。しかし、資料の「生活習慣病 医療費 比較分析」では、他健保と比較して「一人あたり医療費」等が高いことがわかる</p> <hr/> <p>他健保と比較して、特定保健指導率（積極的支援、動機付け支援）が低い。</p> <hr/> <p>2014、2015、2016年の3年平均で「改善率」男性16.19%・女性15.13% 「改悪率」男性12%・女性3.21% 「改善率」は男性・女性ともにほぼ同じパーセントだが、「改悪率」が女性と比較して男性は非常に高い。</p>									
	分類									
	注1)事業分類	計画	2,5-イ,5-ウ,5-キ,5-ク,7-ウ,8	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	既存
		実績	2,5-イ,5-ウ,5-キ,5-ク,7-ウ,8		実績	1. 健保組合				
事業の内容										
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 被保険者,その他								
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 被保険者,その他								
注2)プロセス分類	計画	シ,ス	実施方法	計画	年2回以上開催	予算額	-千円			
	実績	シ,ス		実績	年2回以上開催					
注3)ストラクチャー分類	計画	コ,ス	実施体制	計画	-	決算額	1,550千円			
	実績	コ,ス		実績	-					
実施計画 (令和元年度)	当組合の事業運営及び保健事業内容を、事業所担当者に周知。									

振り返り	実施状況・時期	算定基礎届説明会 (6月 51社 54名) 被扶養者現況調査説明会 (8月 55社 60名) 健康管理者講習会 (9月 37社 73名)
	成功・推進要因	組合の事業運営及び保健事業内容を事業所担当者へ周知できる
	課題及び阻害要因	特になし

評価 5. 100%

事業目標

当組合の事業運営及び保健事業内容を、事業所担当者に周知してもらうため、年2回以上開催する。
事務説明会及び事務講習会 事業所（事業所担当者）参加率50%以上を目標とする。

アウトプット指標 開催通知送付率（【現行値】 - 【計画値/実績値】 令和元年度：100%/100% 【達成度】 100%）全事業所に対して事務講習会及び事務説明会の開催案内を送付。[-]

アウトカム指標 事業所（事務担当者）参加率（【現行値】 - 【計画値/実績値】 令和元年度：50%以上/47.6%以上 【達成度】 95%）-[-]

2 事業名 機関誌の発行

健康課題との関連 該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）

分類

注1)事業分類	計画	2,5-イ,5-ウ,5-エ,5-キ,7-ウ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	既存
	実績	2, 5-イ, 5-ウ, 5-エ, 5-キ, 7-ウ		実績	1. 健保組合				

事業の内容

対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 被保険者
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 被保険者

注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	年4回（春・夏・秋・冬号） 全被保険者に配布	予算額	-千円
	実績	ス		実績	年4回（春・夏・秋・冬号） 全被保険者に配布		

注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	-	決算額	210千円
	実績	ス		実績	-		

実施計画 (令和元年度)	年4回（春・夏・秋・冬号） 全被保険者に配布
振り返り	実施状況・時期 年4回（春・夏・秋・冬）全被保険者に配布
	成功・推進要因 健康保険法の改正及び保健事業の実施報告並びに実施予告等の広報により被保険者に周知できる
	課題及び阻害要因 特になし
評価	5 . 100%
事業目標	
年4回（春・夏・秋・冬号） 全被保険者に配布	
アウトプット指標	機関誌発行回数（【現行値】4回【計画値/実績値】令和元年度：4回/100回 【達成度】100%）年4回（春・夏・秋・冬号） 全被保険者に配布[-]
アウトカム指標	健康保険法の改正や保健事業の実施状況の周知を目的としているため設定は困難 (アウトカムは設定されていません)

【個別の事業】

1	事業名	特定健康診査						
健康課題との関連	<p>特定健診受診率については、形態別に比較した場合は高いものの、組合全体での比較になると若干低い。</p> <hr/> <p>糖尿病予防教室を毎年、開催しており資料の「生活習慣病医療費の経年変化」にもあるように一定の対策効果があると思われる。しかし、資料の「生活習慣病 医療費 比較分析」では、他健保と比較して「一人あたり医療費」等が高いことがわかる</p> <hr/> <p>特定健診受診対象者のうち、メタボ該当者が占める割合は、約13パーセント。</p> <hr/> <p>2014、2015、2016年の3年平均で「改善率」男性16.19%・女性15.13% 「改悪率」男性12%・女性3.21% 「改善率」は男性・女性ともにほぼ同じパーセントだが、「改悪率」が女性と比較して男性は非常に高い。</p>							
	分類							
	注1)事業分類	計画 3-ア,3-イ,3-ウ,4-ア,4-オ,4-カ	実施主体	計画 1. 健保組合	予算科目	特定健康診査事業	新規・既存区分	既存(法定)
		実績 3-ア, 3-イ, 3-ウ, 4-ア, 4-オ, 4-カ		実績 1. 健保組合				
事業の内容								
対象者	計画 対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 加入者全員							
	実績 対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 加入者全員							
注2)プロセス分類	計画 イ,ウ,エ,オ,キ,ケ	実施方法	計画 <ul style="list-style-type: none"> 当組合の健康管理室を利用して行う 当組合の健康管理室を利用できない加入員には補助金を行う 被扶養者には、直接、特定健診の案内を送付する 機関誌やリーフレットなどを配布して受診勧奨を行う 事務担当者向け健康管理者講習会を開催し特定健診の受診勧奨を行う 	予算額	-千円			
	実績 イ,ウ,エ,オ,キ,ケ		実績 <ul style="list-style-type: none"> 当組合の健康管理室を利用して行う 当組合の健康管理室を利用できない加入員には補助金を行う 被扶養者には、直接、特定健診の案内を送付する 機関誌やリーフレットなどを配布して受診勧奨を行う 事務担当者向け健康管理者講習会を開催し特定健診の受診勧奨を行う 					
注3)ストラクチャー分類	計画 ア,ウ	実施体制	計画 ・健康管理室（保健師、看護師等を中心として実施）	決算額	11,014 千円			
	実績 ア,ウ		実績 ・健康管理室（保健師、看護師等を中心として実施）					
実施計画 (令和元年度)	<p>受診率74% 平成30年度、平成31年度の評価を行い、目標と大きくかけ離れた場合、その他必要がある場合には見直す。</p>							

振り返り	実施状況・時期	年間を通して健診結果の提出を事業所へ依頼 被扶養者へ5月に特定健診の案内を送付。
	成功・推進要因	当組合の健康管理室を利用できない加入者の健診結果を事業所より回収するよう強化した。
	課題及び阻害要因	被扶養者の受診率が悪い。 治療中の被扶養者が健診を受けているか不明。 被扶養者の雇用状況も不明。また会社で健診を受けている場合でも健診結果の回収ができていない。
評価	4. 80%以上	
事業目標		
<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診受診率を平成35年度において、85%以上を目標とする。 ・家族の特定健診受診率の向上を目指す。 		
アウトプット指標	特定健診受診案内送付率（【現行値】100%【計画値/実績値】令和元年度：100%/100% 【達成度】100%）家族には、直接、特定健診受診案内を送付する。[-]	
アウトカム指標	特定健診受診率（【現行値】-【計画値/実績値】令和元年度：74%/74% 【達成度】100%）加入者（本人・家族）特定健診受診率（目標値）[-]	

2	事業名	特定保健指導							
健康課題との関連	特定健診受診率については、形態別に比較した場合は高いものの、組合全体での比較になると若干低い。								
	糖尿病予防教室を毎年、開催しており資料の「生活習慣病医療費の経年変化」にもあるように一定の対策効果があると思われる。しかし、資料の「生活習慣病 医療費 比較分析」では、他健保と比較して「一人あたり医療費」等が高いことがわかる								
	他健保と比較して、特定保健指導率（積極的支援、動機付け支援）が低い。								
	2014、2015、2016年の3年平均で「改善率」男性16.19%・女性15.13% 「改悪率」男性12%・女性3.21% 「改善率」は男性・女性ともにほぼ同じパーセントだが、「改悪率」が女性と比較して男性は非常に高い。								
分類									
注1)事業分類	計画	4-ア,4-オ,4-カ,5-ア,5-イ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	特定保健指導事業	新規・既存区分	既存(法定)
	実績	3-ア, 4-ア, 4-オ, 4-カ, 5-ア, 5-イ		実績	1. 健保組合				
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て	性別 男女	年齢 40～74	対象者分類 加入者全員				
	実績	対象事業所 全て	性別 男女	年齢 40～74	対象者分類 加入者全員				

注2)プロセス分類	計画	イ,ク,コ,シ	実施方法	計画	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度以降も継続して、当組合の健康管理室を拠点として現行通りの保健指導（面接指導・事業所訪問指導）を特定保健指導に置き換えて実施する。 ・なお、平成30年度より健康管理室利用が困難な者に対する特定保健指導については、アウトソーシング（契約健診機関）を考慮し、その受診に係る利用券の発行及び利用料に対する組合補助金について制定するものとする。 ・特定健康診査を外部で受信した被扶養者に特定保健指導の通知をする。 	予算額	-千円
	実績	イ,エ,オ,ク,コ,シ		実績	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度以降も継続して、当組合の健康管理室を拠点として現行通りの保健指導（面接指導・事業所訪問指導）を特定保健指導に置き換えて実施する。 ・なお、平成30年度より健康管理室利用が困難な者に対する特定保健指導については、アウトソーシング（契約健診機関）を考慮し、その受診に係る利用券の発行及び利用料に対する組合補助金について制定するものとする。 ・特定健康診査を外部で受信した被扶養者に特定保健指導の通知をする。 		
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,イ,コ	実施体制	計画	・健康管理室（保健師等を中心として実施）	決算額	46千円
	実績	ア,イ,コ		実績	・健康管理室（保健師等を中心として実施）		
実施計画 (令和元年度)	特定保健指導率18%を目標とする。 （被保険者18%、被扶養者15%）						
振り返り	<p>実施状況・時期 年間通して事業所ごとに巡回を実施。 脱メタボ教室や糖尿病予防教室へ指導対象者を含むようにした。</p> <p>成功・推進要因 特になし</p> <p>課題及び阻害要因</p> <p>各教室に特定保健指導対象者も含め通知を出すのが、指導対象者の参加が低い。 新型コロナウイルスの為、年明けより巡回ができず、業者を入れ、遠隔での特定保健指導を試みたが、実施率が上がらなかった。スマホなどに慣れていない業種が多いことも要因。 巡回は毎年同じような事業所になり、新規の事業所が増えない。 事業所の担当者が特定保健指導についての理解が乏しい。</p>						
評価	2. 40%以上						
事業目標							

- ・平成35年度における特定保健指導の実施率を30%とする。
- ・この目標を達成するために、平成30年度以降段階的な目標実施率を「第3期特定健康診査実施計画」に定める。
- ・横浜及びその近隣地域の加入員に対する特定保健指導の実施については、当組合の健康管理室において、実施することを基本とする。
- ・事業所の要望または、当組合の医師・保健師等の判断に基づき、保健指導を必要とする場合は、健康管理委員と連絡のうえ、当該医療スタッフが事業所を訪問して特定保健指導を実施する。
- ・当組合の健康管理室を利用することが困難な者に対しては、利便性のある他の健診委託機関で特定保健指導ができるよう委託して行う。
- ・今後は、北海道・九州等遠隔地の者についても特定保健指導が受けられるように、健診委託機関の委託先を増やしていく。

アウトプット指標 特定保健指導率（【現行値】 - 【計画値/実績値】 令和元年度：18%/6.9% 【達成度】 38.3%） -[-]

アウトカム指標

改善率（男性）（【現行値】 - 【計画値/実績値】 令和元年度：16%以上/19.09%以上 【達成度】 119.3%）『生活習慣病・健診レベル判定分布の経年変化』の集計表で算出される「改善率」[計画値を設定するにあたり、2018年度の改善率が出ていなかったため、2017年度の改善率を参考にした。

2018年度の改善率は18.26。]

改善率（女性）（【現行値】 - 【計画値/実績値】 令和元年度：15%以上/21.31%以上 【達成度】 142.1%）『生活習慣病・健診レベル判定分布の経年変化』の集計表で算出される「改善率」[計画値を設定するにあたり、2018年度の改善率が出ていなかったため、2017年度の改善率を参考にした。

2018年度の改善率は23.53。]

3 事業名							
糖尿病重症化予防							
健康課題との関連	糖尿病予防教室を毎年、開催しており資料の「生活習慣病医療費の経年変化」にもあるように一定の対策効果があると思われる。しかし、資料の「生活習慣病 医療費 比較分析」では、他健保と比較して「一人あたり医療費」等が高いことがわかる						
	2014、2015、2016年の3年平均で「改善率」男性16.19%・女性15.13% 「改悪率」男性12%・女性3.21% 「改善率」は男性・女性ともにほぼ同じパーセントだが、「改悪率」が女性と比較して男性は非常に高い。						
分類							
注1)事業分類	計画 4-オ,4-カ,5-ア	実施主体	計画 1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績 3-ア, 4-オ, 4-カ, 5-ア		実績 1. 健保組合				
事業の内容							
対象者	計画 対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 加入者全員,基準該当者						
	実績 対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 加入者全員,基準該当者						
注2)プロセス分類	計画 オ,キ,ク,ケ,コ,シ	実施方法	計画 ・毎年、教室を開催する ・機関誌などを通じて教室の開催内容等を加入員にお知らせをする	予算額	-千円		
	実績 エ,オ,キ,ク,ケ,コ,シ		実績 ・毎年、教室を開催する ・機関誌などを通じて教室の開催内容等を加入員にお知らせをする				
注3)ストラクチャー分類	計画 ア,イ,コ	実施体制	計画 ・健康管理室の保健師、看護師を中心として実施する	決算額	-千円		

	実績 ア,イ,コ	実績 ・健康管理室の保健師、看護師を中心として実施する	
実施計画 (令和元年度)	HbA1c:8.0%以上の未受診者の減少のため、各事業所と協力して対象者全員へ受診勧奨を実施		
振り返り	実施状況・時期 健診結果を確認後、レセプトを確認し、未受診であれば、本人へ受診勧奨の電話連絡や手紙を送付。事業所からの受診勧奨も依頼。 教室実施 令和元年6月19日、令和2年2月19日 通知：106名中出席者24名	成功・推進要因 教室参加者は、教室参加後6か月の再検査で79%が改善している。 被扶養者は手紙、直接の電話などで8.0以上の対象者は全員治療を開始している。	課題及び阻害要因 教室の参加率が低い。 教室は全国規模での対応ができない。 事業所によって教室の参加状況が違う。 事業所へ対象者への受診勧奨を依頼するが、事業所により対応が違う。 昨年度に比べ健診結果の回収率が上昇したことにより、それぞれの対象者割合も増加した。
評価	2. 40%以上		
事業目標	HbA1c:8.0%以上の未受診者の減少のため、各事業所と協力して対象者全員へ受診勧奨を実施		
	アウトプット指標 受診率（【現行値】85%【計画値/実績値】令和元年度：85%/69% 【達成度】81.2%）HbA1c:8.0%以上の未受診者の減少のため、各事業所と協力して対象者全員へ受診勧奨を実施[-] 糖尿病予防教室参加率（【現行値】14%【計画値/実績値】令和元年度：18%/24% 【達成度】133.3%）HbA1c：6.5～7.9の対象者の減少のため糖尿病予防教室の参加率を上げる。[-] 糖尿病予防教室参加率（【現行値】14%【計画値/実績値】令和元年度：18%/12% 【達成度】66.7%）HbA1c：5.8～6.4対象者の減少のため糖尿病予防教室を実施[-] 資料配布・指導率（【現行値】-【計画値/実績値】令和元年度：10%/0% 【達成度】0%）糖尿病予防教室対象者が参加できなかった場合は、食事や運動などの資料を送付する。[教室欠席者へ資料のみ送付しても、健診結果上、改善が見られていない。また、教室へ参加しなくても資料をもらえるため、欠席となることがある。 他の方法を実施する必要あり。]		
	アウトカム指標 受診率（【現行値】80%【計画値/実績値】令和元年度：80%/69% 【達成度】86.3%）HbA1c:8.0%以上の未受診者の減少のため、各事業所と協力して対象者全員へ受診勧奨を実施[-] 対象者の割合（【現行値】3.8%【計画値/実績値】令和元年度：3.6%/1.3% 【達成度】99.8%）HbA1c：6.5～7.9の対象者の減少[昨年度の対象者割合の現行値に誤りあり。 現行値：1.1%。そのため計画値は現行値と同じとして実績値を計算した。] 対象者の割合（【現行値】10%【計画値/実績値】令和元年度：9%/9.3% 【達成度】97.5%）HbA1c：5.8～6.4対象者の減少[昨年度の対象者割合の現行値に誤りあり。 現行値：7%。そのため計画値は現行値と同じとして実績値を計算した。]		

4	事業名	生活習慣病予防（脱メタボ教室）							
健康課題との関連	糖尿病予防教室を毎年、開催しており資料の「生活習慣病医療費の経年変化」にもあるように一定の対策効果があると思われる。しかし、資料の「生活習慣病 医療費 比較分析」では、他健保と比較して「一人あたり医療費」等が高いことがわかる								
	他健保と比較して、特定保健指導率（積極的支援、動機付け支援）が低い。								
	2014、2015、2016年の3年平均で「改善率」男性16.19%・女性15.13% 「改悪率」男性12%・女性3.21% 「改善率」は男性・女性ともにほぼ同じパーセントだが、「改悪率」が女性と比較して男性は非常に高い。								
	特定健診受診対象者のうち、メタボ該当者が占める割合は、約13パーセント。								
分類									
注1)事業分類	計画	2,4-ア,4-カ,5-ア,5-イ,5-ウ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	2,4-ア,4-カ,5-ア,5-イ,5-ウ		実績	1. 健保組合				

事業の内容							
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 加入者全員					
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 加入者全員					
注2)プロセス分類	計画	オ,ク,ケ,コ,シ	実施方法	計画	・毎年、教室を開催する ・機関誌などを通じて教室の開催内容等を加入員にお知らせをする	予算額	-千円
	実績	オ,ク,ケ,コ,シ		実績			
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,イ,コ	実施体制	計画	・健康管理室の保健師、看護師を中心として実施する	決算額	-千円
	実績	ア,イ,コ		実績			
実施計画 (令和元年度)	脱メタボ教室参加率16%						
振り返り	実施状況・時期		令和元年10月23日、教室開催 68名通知中11名出席（全体） うち特定保健指導対象者：33名通知中2名				
	成功・推進要因		特になし				
	課題及び阻害要因		教室への参加はまだ低い。 事業所側：仕事優先、人手不足人 教室は全国規模での実施はできない。 特定保健指導対象者の参加率が低い。				
評価	3. 60%以上						
事業目標							

生活習慣病医療費削減の為に、毎年、「脱メタボ教室」を開催し教室参加率20%を目指す。
平成35年度 メタボ該当者改善率50%を目標

アウトプット指標

脱メタボ教室参加率（【現行値】13%【計画値/実績値】令和元年度：16%/16% 【達成度】100%）脱メタボ教室対象者に対して、参加率を向上させる。[-]
パンフレット配布率（【現行値】-【計画値/実績値】令和元年度：100%/0% 【達成度】0%）脱メタボ教室対象者が、教室に参加できなかった場合、食事や運動のポイントが掲載されたパンフレットを配布する。[教室欠席者へ資料のみ送付しても、健診結果上、改善が見られていない。また、教室へ参加しなくても資料をもらえるため、欠席となることがある。]

アウトカム指標

メタボ該当者改善率（【現行値】-【計画値/実績値】令和元年度：45%/42.9% 【達成度】95.3%）特定健診受診対象者のうちメタボ該当者が占める割合が減る。[-]

5	事業名	後発医薬品の使用促進					
健康課題との関連	他健保に比べ一人当たり調剤費が高く、特に「被保険者」の一人当たり調剤費が高い。その中でも「60歳以上の一人当たり調剤費」が高い。						
分類							
注1)事業分類	計画 2,7-ア,7-イ,7-ウ,8 実績 2,7-ア,7-イ,7-ウ,8	実施主体	計画 1. 健保組合 実績 1. 健保組合	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	既存
事業の内容							
対象者	計画 対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 加入者全員 実績 対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 加入者全員					予算額	-千円
注2)プロセス分類	計画 イ,ウ	実施方法	計画 ・医療費通知（インターネット）を使用して後発医薬品の情報を加入者に提供 ・年4回配布する機関誌などを通じて後発医薬品の情報を加入者に提供 ・事務担当者向け健康管理者講習会等で後発医薬品の情報を提供 ・調剤費対策として、家庭常備薬を配布（軽度の疾患には対処することができる） ・調剤費対策として、健康づくり事業も実施する「家族連れバスハイキング」「健康ウォーキング大会」を開催、また、スポーツ施設の利用補助を行う			予算額	-千円

	実績	イ,ウ		実績	<ul style="list-style-type: none"> ・医療費通知（インターネット）を使用して後発医薬品の情報を加入者に提供 ・年4回配布する機関誌などを通じて後発医薬品の情報を加入者に提供 ・事務担当者向け健康管理者講習会等で後発医薬品の情報を提供 ・調剤費対策として、家庭常備薬を配布（軽度の疾患には対処することができる） ・調剤費対策として、健康づくり事業も実施する「家族連れバスハイキング」「健康ウォーキング大会」を開催、また、スポーツ施設の利用補助を行う 		
注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	-	決算額	-千円
	実績	ス		実績	-		

実施計画 (令和元年度) 後発医薬品使用割合70%

振り返り

実施状況・時期 通年
成功・推進要因 特になし
課題及び阻害要因 特になし

評価 4. 80%以上

事業目標

一人当たり調剤費が、他健保平均よりも高いことから差額通知等を使用して調剤費を他健保平均以下を目標とする
平成32年度には、後発医薬品使用割合80%を目標とする

アウトプット指標

差額通知案内（【現行値】 - 【計画値/実績値】 令和元年度：65%/100% 【達成度】 153.8%）後発医薬品に変更した場合の差額を、Web医療費通知等に記載し、加入者に案内する。[-]

アウトカム指標

後発医薬品使用割合（【現行値】 - 【計画値/実績値】 令和元年度：70%/81.43% 【達成度】 116.3%）-[実績値は2020年2月の数値]

6 事業名 育児誌の配布

健康課題との関連 該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）

分類

注1)事業分類	計画	6,8	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	既存
	実績	6,8		実績	1. 健保組合				

事業の内容

対象者

計画 **対象事業所** 全て **性別** 男女 **年齢** 18～74 **対象者分類** 加入者全員

実績 **対象事業所** 全て **性別** 男女 **年齢** 18～74 **対象者分類** 加入者全員

注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	初産に対して1年間（毎月）育児誌を配布	予算額	-千円
	実績	ス		実績	初産に対して1年間（毎月）育児誌を配布		
注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	-	決算額	210千円
	実績	ス		実績	-		

実施計画 (令和元年度) 初産に対して1年間（毎月）育児誌を配布

振り返り

実施状況・時期 配布該当者 12名

成功・推進要因 出産された方々から参考になると申し出がある

課題及び阻害要因 特になし

評価 5. 100%

事業目標

初産に対して1年間（毎月）育児誌を配布

アウトプット指標 配布（【現行値】1年間【計画値/実績値】令和元年度：1年間/100年間 【達成度】100%）初産に対して1年間（毎月）育児誌を配布[-]

アウトカム指標 育児にたいする正しい知識等を持ってもらうことが目的のため設定は困難（アウトカムは設定されていません）

7 事業名 健康者表彰

健康課題との関連 該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）

分類

注1)事業分類	計画	2,8	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	既存
	実績	2,8		実績	1. 健保組合				

事業の内容

対象者

計画 **対象事業所** 全て **性別** 男女 **年齢** 0～74 **対象者分類** 加入者全員

実績 **対象事業所** 全て **性別** 男女 **年齢** 0～74 **対象者分類** 加入者全員

注2)プロセス分類	計画	ア,ス	実施方法	計画	健康者へのインセンティブとして1年間健康に過ごした方を表彰	予算額	-千円
-----------	----	-----	------	----	-------------------------------	-----	-----

	実績	ア,ス		実績	健康者へのインセンティブとして1年間健康に過ごした方を表彰		
注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	-	決算額	2,560 千円
	実績	ス		実績	-		

実施計画 (令和元年度) 年1回実施

振り返り

- 実施状況・時期** 被表彰者 632名
- 成功・推進要因** 特になし
- 課題及び阻害要因** 特になし

評価 5. 100%

事業目標

年1回実施

アウトプット指標 実施回数（【現行値】1回【計画値/実績値】令和元年度：1回/100回 【達成度】100%）健康者へのインセンティブとして1年間健康に過ごした方を表彰[-]

アウトカム指標 医療費・調剤費削減の対策事業である「糖尿病重症化予防」「生活習慣病予防（脱メタボ教室）」「後発医薬品の使用促進」の実施手段のひとつとして行うため設定が困難（アウトカムは設定されていません）

8 事業名 ホームページ

健康課題との関連 該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）

分類

注1)事業分類	計画	2,5-キ,8	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	既存
	実績	2,5-キ,8		実績	1. 健保組合				

事業の内容

対象者

- 計画** **対象事業所** 全て **性別** 男女 **年齢** 0～74 **対象者分類** 加入者全員
- 実績** **対象事業所** 全て **性別** 男女 **年齢** 0～74 **対象者分類** 加入者全員

注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	-	予算額	-千円
	実績	ス		実績	-		

注3)ストラクチャー分類	計画	実施体制	計画	決算額	60千円
	実績		実績		

実施計画(令和元年度) 通年実施

振り返り

実施状況・時期 定期的にホームページの内容を更新

成功・推進要因 特になし

課題及び阻害要因 特になし

評価 4. 80%以上

事業目標

通年実施

アウトプット指標 ホームページ更新回数(月) (【現行値】1回【計画値/実績値】令和元年度:1回/1回 【達成度】100%) -[-]

アウトカム指標 健康保険法の改正や保健事業の実施状況の周知を目的としているため設定は困難(アウトカムは設定されていません)

9 事業名 **健康診査の補助(生活習慣病・人間ドック・精密検査)**

健康課題との関連 他健保に比べ一人当たり調剤費が高く、特に「被保険者」の一人当たり調剤費が高い。その中でも「60歳以上の一人当たり調剤費」が高い。

2014、2015、2016年の3年平均で「改善率」男性16.19%・女性15.13% 「改悪率」男性12%・女性3.21%
「改善率」は男性・女性ともにほぼ同じパーセントだが、「改悪率」が女性と比較して男性は非常に高い。

分類

注1)事業分類	計画	3-ア,3-イ,3-ウ,3-キ,4-ア,4-カ,8	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	3-ア, 3-イ, 3-ウ, 3-キ, 4-ア, 4-カ, 8		実績	1. 健保組合				

事業の内容

対象者

計画 **対象事業所** 全て **性別** 男女 **年齢** 18～74 **対象者分類** 加入者全員

実績 **対象事業所** 全て **性別** 男女 **年齢** 18～74 **対象者分類** 加入者全員

注2)プロセス分類	計画	イ,ウ,キ,シ,ス	実施方法	計画	健康管理室を利用できない方への健診補助をする ・健康診断 ・生活習慣病 ・人間ドック ・脳ドック ・肺ドック ・オプション検査（前立腺、子宮がん、乳がん）	予算額	-千円
	実績	イ,ウ,エ,オ,キ,シ,ス		実績	健康管理室を利用できない方への健診補助をする ・健康診断 ・生活習慣病 ・人間ドック ・脳ドック ・肺ドック ・オプション検査（前立腺、子宮がん、乳がん）		
注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	・健康管理室	決算額	22,080 千円
	実績	ス		実績	・健康管理室		
実施計画 (令和元年度)	通年実施						
振り返り	実施状況・時期		随時 健診補助 ・健康診断 933名 ・生活習慣病 693名 ・人間ドック 386名 ・脳ドック 68名 ・肺ドック 42名 ・精密検査 618名				
	成功・推進要因		健康意識が向上し健診人数が増えている				
	課題及び阻害要因		特になし				
評価	4. 80%以上						
事業目標							

健康管理室を利用できない方への健診補助種類数を6とする【健康診断・生活習慣病・人間ドック・脳ドック・肺ドック・オプション検査（前立腺、子宮がん、乳がん）】

アウトプット指標 補助種類数（【現行値】6種類【計画値/実績値】令和元年度：6種類/6種類 【達成度】100%）健康管理室を利用できない方への健診補助をする

- ・健康診断
- ・生活習慣病
- ・人間ドック
- ・脳ドック
- ・肺ドック
- ・オプション検査（前立腺、子宮がん、乳がん）[-]

アウトカム指標 医療費・調剤費削減の対策事業である「糖尿病重症化予防」「生活習慣病予防（脱メタボ教室）」「後発医薬品の使用促進」の実施手段のひとつとして行うため設定が困難（アウトカムは設定されていません）

10	事業名	家庭常備薬の配布							
健康課題との関連	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）								
分類									
注1)事業分類	計画	2,8	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	2,8		実績	1. 健保組合				
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 被保険者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 被保険者							
注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	被保険者すべてに配布			予算額	-千円
	実績	ス		実績	被保険者すべてに配布				
注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	-			決算額	7,247 千円

実績	ス	実績	-
実施計画 (令和元年度)	被保険者すべてに配布		
振り返り	実施状況・時期	常備薬を希望する被保険者へ配布	
	成功・推進要因	軽度の疾患に対処することができる	
	課題及び阻害要因	特になし	
評価	5. 100%		
事業目標			
被保険者すべてに配布			
アウトプット指標	配布回数（【現行値】1回【計画値/実績値】令和元年度：1回/1回 【達成度】100%）被保険者すべてに配布[-]		
アウトカム指標	医療費・調剤費削減の対策事業である「糖尿病重症化予防」「生活習慣病予防（脱メタボ教室）」「後発医薬品の使用促進」の実施手段のひとつとして行うため設定が困難（アウトカムは設定されていません）		

11 事業名	冬季疾病予防対策（インフルエンザ予防接種）								
健康課題との関連	他健保に比べ一人当たり調剤費が高く、特に「被保険者」の一人当たり調剤費が高い。その中でも「60歳以上の一人当たり調剤費」が高い。								
分類									
注1)事業分類	計画	3-カ,8	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	3-カ,8		実績	1. 健保組合				
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 加入者全員							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 加入者全員							
注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	健康管理室においてインフルエンザ予防接種及び補助を実施			予算額	-千円	
	実績	ス		健康管理室においてインフルエンザ予防接種及び補助を実施					
注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	-			決算額	7,130 千円	

	実績	実績
実施計画 (令和元年度)	年1回実施（10月～12月）	
振り返り	実施状況・時期	10月～12月 健康管理室で接種 989名 接種補助 3,817名
	成功・推進要因	加入者の健康意識が向上しているため、毎年、予防接種を受ける人数が増えている
	課題及び阻害要因	特になし
評価	5. 100%	

事業目標	
年1回実施（10月～12月）	
アウトプット指標	実施回数（年）（【現行値】1回【計画値/実績値】令和元年度：1回/1回 【達成度】100%）年1回実施（10月～12月）[-]
アウトカム指標	- (アウトカムは設定されていません)

12 事業名 **家族連れバスハイキング**

健康課題との関連
他健保に比べ一人当たり調剤費が高く、特に「被保険者」の一人当たり調剤費が高い。その中でも「60歳以上の一人当たり調剤費」が高い。
2014、2015、2016年の3年平均で「改善率」男性16.19%・女性15.13% 「改悪率」男性12%・女性3.21%
「改善率」は男性・女性ともにほぼ同じパーセントだが、「改悪率」が女性と比較して男性は非常に高い。

分類									
注1)事業分類	計画	5-イ,5-エ,8	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	体育奨励	新規・既存区分	既存
	実績	5-イ,5-エ,8		実績	1. 健保組合				

事業の内容

対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員					
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員					
注2)プロセス分類	計画	ケ,ス	実施方法	計画	年2回実施	予算額	-千円
	実績	ケ,ス		実績	年2回実施		
注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	-	決算額	2,333 千円

	実績		実績	
実施計画 (令和元年度)	年2回実施			
振り返り	実施状況・時期	春季：4月13日 137名 「三島スカイウォークといちご狩り」		
		秋季：10月19日 91名 「酪農王国とみかん狩り」		
	成功・推進要因	健康づくり効果がある		
	課題及び阻害要因	利用者が限られる		
評価	4. 80%以上			

事業目標	
組合加入員の参加者を増やす	
アウトプット指標	開催回数（【現行値】2回【計画値/実績値】令和元年度：2回/2回 【達成度】100%）-[-]
アウトカム指標	医療費・調剤費削減の対策事業である「糖尿病重症化予防」「生活習慣病予防（脱メタボ教室）」「後発医薬品の使用促進」の実施手段のひとつとして行うため設定が困難（アウトカムは設定されていません）

13 事業名	健康づくりの奨励	
健康課題との関連	他健保に比べ一人当たり調剤費が高く、特に「被保険者」の一人当たり調剤費が高い。その中でも「60歳以上の一人当たり調剤費」が高い。	
	糖尿病予防教室を毎年、開催しており資料の「生活習慣病医療費の経年変化」にもあるように一定の対策効果があると思われる。しかし、資料の「生活習慣病 医療費 比較分析」では、他健保と比較して「一人あたり医療費」等が高いことがわかる	
	特定健診受診対象者のうち、メタボ該当者が占める割合は、約13パーセント。	
	2014、2015、2016年の3年平均で「改善率」男性16.19%・女性15.13% 「改悪率」男性12%・女性3.21% 「改善率」は男性・女性ともにほぼ同じパーセントだが、「改悪率」が女性と比較して男性は非常に高い。	

分類									
注1)事業分類	計画	2,4-カ,5-ア,5-イ,8	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	体育奨励	新規・既存区分	既存
	実績	2,4-カ,5-ア,5-イ,8		実績	1. 健保組合				

事業の内容									
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 加入者全員					
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 加入者全員					
注2)プロセス分類	計画	ケ,ス	実施方法	計画	組合が契約しているスポーツ施設（プール・スケート場）の利用補助	予算額	-千円
	実績	ケ,ス		実績			
注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	-	決算額	490千円
	実績	ス		実績	-		
実施計画 (令和元年度)	年2回実施 ・プール（7月～8月） ・スケート（12月～3月）						
振り返り	実施状況・時期		7～8月 プール（3施設） 1,050名				
			12月～3月 スケート（3施設） 184名				
	成功・推進要因		健康づくり効果がある				
	課題及び阻害要因		利用者が限られる				
評価	4. 80%以上						
事業目標							
年2回実施 ・プール（7月～8月） ・スケート（12月～3月）							
アウトプット指標 実施回数（【現行値】2回【計画値/実績値】令和元年度：2回/2回 【達成度】100%）年2回実施 ・プール（7月～8月） ・スケート（12月～3月）[-]							
アウトカム指標 医療費・調剤費削減の対策事業である「糖尿病重症化予防」「生活習慣病予防（脱メタボ教室）」「後発医薬品の使用促進」の実施手段のひとつとして行うため設定が困難（アウトカムは設定されていません）							

14 事業名 **健康ウォーキング大会**

健康課題との関連	他健保に比べ一人当たり調剤費が高く、特に「被保険者」の一人当たり調剤費が高い。その中でも「60歳以上の一人当たり調剤費」が高い。								
	糖尿病予防教室を毎年、開催しており資料の「生活習慣病医療費の経年変化」にもあるように一定の対策効果があると思われる。しかし、資料の「生活習慣病 医療費 比較分析」では、他健保と比較して「一人あたり医療費」等が高いことがわかる								
	特定健診受診対象者のうち、メタボ該当者が占める割合は、約13パーセント。								
	2014、2015、2016年の3年平均で「改善率」男性16.19%・女性15.13% 「改悪率」男性12%・女性3.21% 「改善率」は男性・女性ともにほぼ同じパーセントだが、「改悪率」が女性と比較して男性は非常に高い。								
分類									
注1)事業分類	計画	2,4-カ,5-ア,5-イ,5-エ,8	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	体育奨励	新規・既存区分	既存
	実績	2, 4-カ, 5-ア, 5-イ, 5-エ, 8		実績	1. 健保組合				
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 加入者全員							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 加入者全員							
注2)プロセス分類	計画	ア,ケ,ス	実施方法	計画	現地集合、現地解散でウォーキング大会を実施			予算額	-千円
	実績	ア,ケ,ス		実績	現地集合、現地解散でウォーキング大会を実施				
注3)ストラクチャー分類	計画	ス	実施体制	計画	-			決算額	509千円
	実績	ス		実績	-				
実施計画 (令和元年度)	年2回実施（春・秋）								
振り返り	実施状況・時期		春：6月8日 114名 「木更津で潮干狩」						
			秋：11月2日 115名 「よこはま動物園ズーラシア」						
	成功・推進要因		健康づくり効果がある						
	課題及び阻害要因		参加者が限られる						
評価	4. 80%以上								
事業目標									

年2回実施（春・秋）

アウトプット指標 実施回数（【現行値】2回【計画値/実績値】令和元年度：2回/2回 【達成度】100%）年2回実施（春・秋）[-]

アウトカム指標 医療費・調剤費削減の対策事業である「糖尿病重症化予防」「生活習慣病予防（脱メタボ教室）」「後発医薬品の使用促進」の実施手段のひとつとして行うため設定が困難（アウトカムは設定されていません）

15	事業名	ウォーキング支援							
健康課題との関連	他健保に比べ一人当たり調剤費が高く、特に「被保険者」の一人当たり調剤費が高い。その中でも「60歳以上の一人当たり調剤費」が高い。								
	糖尿病予防教室を毎年、開催しており資料の「生活習慣病医療費の経年変化」にもあるように一定の対策効果があると思われる。しかし、資料の「生活習慣病 医療費 比較分析」では、他健保と比較して「一人あたり医療費」等が高いことがわかる								
	特定健診受診対象者のうち、メタボ該当者が占める割合は、約13パーセント。								
	2014、2015、2016年の3年平均で「改善率」男性16.19%・女性15.13% 「改悪率」男性12%・女性3.21% 「改善率」は男性・女性ともにほぼ同じパーセントだが、「改悪率」が女性と比較して男性は非常に高い。								
分類									
注1)事業分類	計画	5-ア,5-イ,5-エ,8	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	体育奨励	新規・既存区分	既存
	実績	5-ア,5-イ,5-エ,8		実績	1. 健保組合				
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 加入者全員							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 加入者全員							
注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	健保連、神奈川県歩け歩け協会等が主催する企画イベントに参加費の補助	予算額	-	千円	
	実績	ス		実績	健保連、神奈川県歩け歩け協会等が主催する企画イベントに参加費の補助				
注3)ストラクチャー分類	計画	ケ,ス	実施体制	計画	-	決算額	8	千円	
	実績	ケ,ス		実績	-				
実施計画 (令和元年度)	月1回開催される健保連、神奈川県歩け歩け協会等が主催する企画イベントに参加費の補助								

振り返り	実施状況・時期	通年（毎月1回ウォーキング開催） 31名
	成功・推進要因	健康づくり効果がある
	課題及び阻害要因	開催場所が限定されているので参加者が限られる
評価	4. 80%以上	
事業目標		
月1回開催される健保連、神奈川歩け歩け協会等が主催する企画イベントに参加費の補助		
アウトプット指標		
参加費の補助回数（年12回）（【現行値】12回【計画値/実績値】令和元年度：12回/11回 【達成度】91.7%）月1回開催される健保連、神奈川歩け歩け協会等が主催する企画イベントに参加費の補助 [2020年3月のウォーキングは、新型コロナウイルス感染防止対策のため中止]		
アウトカム指標		
医療費・調剤費削減の対策事業である「糖尿病重症化予防」「生活習慣病予防（脱メタボ教室）」「後発医薬品の使用促進」の実施手段のひとつとして行うため設定が困難 (アウトカムは設定されていません)		

16	事業名	重複・頻回受診者対策							
健康課題との関連	他健保に比べ一人当たり調剤費が高く、特に「被保険者」の一人当たり調剤費が高い。その中でも「60歳以上の一人当たり調剤費」が高い。								
分類									
注1)事業分類	計画	4-ク	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	新規
	実績	4-ク		実績	1. 健保組合				
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 加入者全員							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～74 対象者分類 加入者全員							
注2)プロセス分類	計画	キ	実施方法	計画	適正受診を促すためにパンフレットを送付	予算額		-千円	
	実績	キ		実績	適正受診を促すためにパンフレットを送付				
注3)ストラクチャー分類	計画	イ	実施体制	計画	外部委託事業者と連携	決算額		692千円	
	実績	イ		実績	外部委託事業者と連携				

実施計画 (令和元年度)	対象者を抽出（○重複受診者・・・1カ月に2医療機関以上に通院している ○頻回受診者・・・1カ月に15日以上通院している）して、受診者に適正に受診を促すためのパンフレットを送付する。 （※多剤投与者も重複・頻回関連として対象者を抽出） （※①透析患者 ②がん患者 ③リハビリ患者 ④精神疾患患者 ⑤六歳未満の患者は、今回は通知対象外とする）
振り返り	<p>実施状況・時期 2019年3月、4月、5月診療分の重複・頻回受診者を抽出し、その対象者に受診適正化の案内パンフレットを送付する。重複・頻回受診者の2019年3月、4月、5月の医療費と、その後の2019年10月、11月、12月の医療費を比較</p> <p>成功・推進要因 重複・頻回受診者が、自身の医療機関のかかり方について意識づけすることができた。</p> <p>課題及び阻害要因 今回行った重複・頻回受診者対策だけで、削減効果が本当にあるのかが不明。</p>
評価	5. 100%

事業目標

2019年3月、4月、5月診療分の重複・頻回受診者を抽出し、その対象者に受診適正化の案内パンフレットを送付する。
重複・頻回受診者の2019年3月、4月、5月の医療費と、その後の2019年10月、11月、12月の医療費を比較して、10%の医療費削減を目標とする。

アウトプット指標

発送率（【現行値】 - 【計画値/実績値】 令和元年度：100%/100% 【達成度】 100%）重複受診者（1カ月に2医療機関以上）や頻回受診者（1カ月に15日以上通院）に適正に受診を促すためのパンフレットを送付[-]

アウトカム指標

重複・頻回受診者医療費（【現行値】 - 【計画値/実績値】 令和元年度：10%/62.5% 【達成度】 625%）重複受診者（1カ月に2医療機関以上）や頻回受診者（1カ月に15日以上通院）の1か月平均総医療費10%削減[点検前 1か月平均 対象者総医療費 1,756,860円
点検後 1か月平均 対象者総医療費 658,170円]

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況） ウ. 受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況） エ. ICTの活用（情報作成又は情報提供でのICT活用など）
オ. 専門職による対面での健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施 ク. 対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など）
ケ. 参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備） コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 シ. 事業主と健康課題を共有 ス. その他

注3) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 専門職との連携体制の構築（産業医・産業保健師を除く） エ. 他の保険者との共同事業 オ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 カ. 自治体との連携体制の構築
キ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 ク. 保険者協議会との連携体制の構築 ケ. その他の団体との連携体制の構築 コ. 就業時間内も実施可（事業主と合意） サ. 運営マニュアルの整備（業務フローの整理）
シ. 人材確保・教育（ケースカンファレンス／ライブラリーの設置） ス. その他